

大阪府立清水谷高等女学校
大阪府立清水谷高等学校
同窓会会報

令和3年版

清友

発行日 令和3年12月10日
発行者 須藤 隆二
発行所 清友会
大阪市天王寺区清水谷町2-44
大阪府立清水谷高等学校内
TEL.06-6768-4159 FAX.06-6770-5015
<https://dousokai.site/seiyukai/>
Eメール: seiyukai@carrot.ocn.ne.jp



2021年 清水谷高校は創立120周年を迎えます
「清水谷120年 明治から令和そして未来の友へ」

会長挨拶・顧問挨拶	2
校長挨拶・支部長挨拶	3
120年の歩み	4・5
120周年記念事業について	6～8
募金芳名録	9
総会報告	10・11
賛助金芳名録	12・13
学校だより	14・15
特集1・各界で活躍する卒業生	16
特集2・母校で活躍する卒業生	17
回生だより他	18～21
清友会デジタル化の取り組み	22
事務局からのお知らせ	23
120周年記念ロゴについて	24



暗雲去り新たな地平が見えるまで ～未来の友のために



会長 須藤 隆二 (高34回)

日頃より清友会の活動にご理解とご協力を賜りありがとうございます。

また、昨年以來続くコロナ禍の影響を受けておられるすべての皆様にお見舞い申し上げます。

ご承知のとおり、本年は1901年の高等女学校創立から数えて120周年の大きな節目に当たります。10月には大阪国際会議場（通称グランキューブ大阪）にて盛大な記念式典を開催すべく、教職員、在校生、PTAの方々と協力して準備を進めて参りました。ところが残念なことに、当該会場が新型コロナウイルスワクチンの接種会場として使用されることとなったため、使用許可が取り消されることとなり、代わりとなる適切な会場の手配ができない状況で、緊急事態宣言の発出と延長が重なった結果、記念式典の延期を決断せざるを得なくなりました。関係者の皆様には突然の延期に多大なご迷惑とご心配をおかけしましたことをこの場を借りてお詫び申し上げます。

120周年記念関連に限らず、当会の活動もまた大きく制約を受けました。フェスタ清友、新年互礼会、二十歳になったら清水谷、清友

会フューチャーの会など、会合という会合はことごとく中止ないし延期に追い込まれました。けれどもそのような中でも、120周年の記念募金には多くの会員の皆様にご協力を頂き、そのおかげをもちまして記念誌発行、記念グッズの製作などの事業を進めることができました。今後は、延期された記念式典及び祝賀会の開催、そして記念事業の大きな柱である教育施設寄付事業（アクティブラーニングスペース構想）の実現に向けて活動を継続して参る所存です。

コロナ禍の情勢はまだまだ予断を許しませんが、いずれは暗雲が去り、霧も晴れて新たな地平が見えてくると信じます。そのときがくるまで清水谷の絆を心にお留め頂き、母校支援という大切な役割を果たすため、引き続き力強いご協力を賜りますようお願い申し上げます。未来の友のために。

120周年に寄せて

百二十周年に寄せて

顧問 板倉 圭子
(第19代校長・高14回)



清友会の皆様、母校の創立百二十周年、誠におめでとうございます。

百二十年の丁度真ん中、昭和三十六年、私は三年生でしたが、六十周年の御祝があり、(戦後すぐの五十周年が充分祝えなかった為に) 当時としては盛大に記念行事が行われた記憶が残っています。記念式典、部室の建設、記念誌の発行、済美館での写真展で先生方の若い頃の英姿を拝見した事、等々。

二つ目の関わりは、平成十一年に思いがけず教頭として母校に赴任し、百周年記念誌の編集に携わり、十三年には校長として記念行事の数々を執り行った事です。清友会とは別の日程になりましたが、音楽選択生全員による大合唱、美術・書道選択生による作品展示など、生徒を中心に教職員、学校を挙げての行事は、皆様の協力があったこそ成し遂げられた事でした。

今、百二十周年を迎えて、私自身の清水谷との関わり
の深さ、運命の巡り合わせを実感し、一人感慨を深めています。

改めて、行事の御盛會を祈り、今後ますますの母校の発展を祈ります。

120周年に寄せて

顧問 日根野 文三 (第16代会長・高22回)



伝統ある清水谷高校は、「伝統」のみならず登校した3年間の楽しかった日々の思いが母校愛を醸し出す源泉になっているのではないのでしょうか。私も「朝起きて学校へ行くのが楽しみ」という体験は、人生で初めてでした。

さて、卒後に清友会に用件があり校庭を歩いていて生駒先生に呼び止められ、きつねうどんをご馳走になったことから清友会の世話役の末席に招いていただきました。以降、様々なできごとがありました。

その中で、清友会の制度改革、即ち「社団法人から任意団体へ」という改革があり、運営上の画期的な方向転換でありました。清友会では、長きに亘り、運営体制をめぐり議論がありました。社団法人たることが女学校OGの方々の大きなプライドであり、その運営体制を継続すべきとの見解と、社団法人であることによる法的規制に拘束されているより任意団体となって自由闊達な事業運営を行うことが清友会活性化へ結び付くという見解とが主張されていました。時の経過を経て、社会情勢及び法制度の変化により後者の見解の通りとなって行きました。提唱者であった当時の監事であられた故松宮清隆氏の主張と予言が40年後に全くその通りになったことにつき、その慧眼に恐れ入るばかりです。

私も後日、この制度改革の実行手続に会長として関わるとは思いも掛かっていませんでした。

120周年までに女学校OGの清友会役員が全て退任され、又関わられた多くの理事・監事の方々と運営の日々に思いを巡らせ感慨深いものが有ります。



「大人」を育てる清水谷であるために



校長 田中 隆博

清友会会員みなさまには、日頃から本校の教育活動にご理解・ご協力を賜り、誠にありがとうございます。とりわけ、学校広報活動への援助をはじめ、在校生に対する支援活動など、多方面にお力添えをいただいておりますことに、心より感謝申し上げます。

今年度に入っても、ウイルス感染の波は鎮まることなく、緊急事態措置・まん延防止等重点措置が繰り返し発出される中での学校の日常が続いています。マスクをつけたまま過ごさねばならない生徒たちは、それでも一度きりの高校生活を少しでも充実させようと、持ち味の真面目さでめざす未来を見据え、それぞれの歩をすすめています。

さて、日本財団が行っている「18歳意識調査」のうち、2019年に実施された「社会や国に対する意識調査」では、「自分を大人だと思うか」という質問に対して、「そう思う」と答えた日本の若者は29.1%で、調査に参加した9か国の中でとび抜けて低い（二番目に低い韓国で49.1%）ということで大きな話題になりました。同調査ではこの他にも、日本では「将来の夢を持っている」若者も、「自分で国や社会を変えられる」と思う若者も、「自分の国は将来良くなる」と思う若者も、すべて参加国中最も少ないという結果が出ています。将来へ

の展望も、自己有用感もない中では、そもそも「大人になりたいと思わない」というのが本当のところかもしれません。本校生徒に同じ質問をしたら、どのような結果となるでしょうか。

120年の長きにわたり引き継がれてきた本校の教育に一貫して流れるものがあるとすれば、その一つは「自主自律」だと思っています。初代校長大村忠二郎先生は、「進取活動ヲ主シ自治自動ヲ尚ブ誠実ヲ以テ中心的徳義ト定ム」と、自発的な向上を促す教育を提唱されており、現在も「自由な精神をもった大人を育てる」という学校目標を掲げ、「自治活動」を本校教育の三本柱の一つとして位置づけています。

この教育目標を「お題目」にしないために、さまざまな活動を通して、生徒が自尊心を高め、夢や希望が膨らんでいくよう支援するとともに、私自身が「大人って楽しそう」と生徒たちに思われるような生き活きとした大人でありたいと思っています。

清友会会員みなさまからも様々なご意見をお聞かせいただきたいと思います。お時間がございましたら、クスノキの大木のもと、懐かしい母校をお訪ねいただければと思います。

120周年に寄せて

東京支部だより（2021年）

東京支部長 吉田 順（高22回）



清水谷高校、創立120周年おめでとうございます。創立110周年の前年に東京支部長に就任し、10年を経過した事は大変感慨深く感じます。これからも何十年と清友会に関わっていきたく思います。

さて2021年度の東京支部総会は新型コロナウイルスの影響により、残念ながら中止させて頂きました。そのため役員改選の年でしたが承認議決ができませんでしたので、末尾の役員で仮運営して参ります。ご了承のほど、よろしく願い致します。

今年の支部総会は、令和3年10月30日（土）に一昨年までと同様大手町サンケイプラザの3階会議場で13：00～開催の予定です。今年は昨年実施できなかった「おっさんレンタルーセカンドライブを楽しくー」のテーマで荻野 潔様（高23回）に講演頂く予定です。1年お待ち頂きましたが、よろしく願い致します。多くの方がご参加で楽しいひと時を過ごしたいと思います。ただコロナ禍の影響で実施できない場合はご容赦下さい。

残念ながら報告があります。20年以上にわたって東京支部の役員を務めて頂きました高25回生の浜口一恵さんが2020年8月に病気で逝去されました。東京支部の発展のために大変ご尽力頂き、感謝申し上げます。ご冥福をお祈り致します。

清友会東京支部

支部長	吉田 順（高22回）
副支部長	伊部千代子（高19回）
〃	長岡多美子（高22回）
〃	鳥居 洋子（高23回）
〃	久川 和彦（高24回）
〃	中村 知司（高32回）
〃	池端 正明（高33回）
監査役	始関 尚子（高32回）
〃	井之口 豊（高45回）
相談役	中島 汎仁（高10回）

120周年に寄せて

東海支部長
橋本利昭
（高21回）



私は21回生、昭和40年代の高校生活でした。自由な校風とクラスなどの仲間意識が高かった時代、学園祭後にファイヤーストームを行ったり修学旅行が無かったことに署名を集めて要望を聞いてもらったりしたことなどを覚えています。

私が卒業して50年以上経ちますが、120周年を迎え発展し続ける清水谷高校の様子や現役高校生の活躍をお聞きし、本当にうれしく思います。

高校生の皆さん、自分を信じ自分のできることを思い切って実行してください。『失敗は成功の基』多くの卒業生が各地で応援していることと思います。

私も東海支部は微力ですが同窓の志を持ち母校を応援し東京支部と協力して今後も活動を続けてまいります。

創立120周年おめでとうございます。

清水谷高校の歩み

明治33年
大阪府第一高等女学校開校

明治34年
大阪府立清水谷高等女学校
と改称

明治40年
済美館（木造）落成

大正14年
新校舎 落成
済美館（鉄筋3階建）落成

昭和12年
体育館 落成

昭和20年
戦災により校舎一部焼失

昭和23年
大阪府立清水谷高等学校設置
(高津高校と交流・男女共学制)

昭和25年
西運動場施工

平成3年
創立90周年式典

平成5年
新校舎、体育館竣工

平成6年
プール、テニスコート完成

平成13年
創立100周年式典

平成14年
海外語学研修開始

平成23年
創立110周年式典

平成26年
大阪府学区制撤廃

令和2年
コロナ禍により約3ヵ月休校

～歴代校長～



初代
大村 忠二郎
(明治33～大正10)

第2代 藤 沢 茂登一 (大正10～昭和10)

第3代 生 田 鹿之承 (昭和10～17)

第4代 高 柳 清 (昭和17～24)

～清水谷高等学校～

第5代 西 由 己 (昭和24～29)

第6代 近 藤 謙 二 (昭和29～34)

第7代 竹 谷 新 (昭和34～37)

第8代 堀 江 駒太郎 (昭和37～43)

第9代 上 村 義 一 (昭和43～47)

第10代 末 広 恵太郎 (昭和47～52)



第11代
藤 光利 直
(昭和52～55)



第12代
湯 口政 男
(昭和55～59)



第13代
行 昭一郎
(昭和59～61)



第14代
松 川義 明
(昭和61～63)



第15代
林 田昭 喜
(昭和63～平成4)



第16代
久 米俊 之
(平成4～7)



第17代
芝 口達 也
(平成7～10)



第18代
芝 田充 弘
(平成10～13)



第19代
板 倉圭 子
(平成13～16)



第20代
富 森盛 史
(平成16～20)



第21代
南 太一郎
(平成20～23)



第22代
中 西修 一
(平成23～26)



第23代
島 崎英 夫
(平成26～28)



第24代
橋 本卓 爾
(平成28～31)



第25代
田 中隆 博
(平成31～)



清友会歴代会長(理事長)

初代 大村 忠二郎
初代校長(明治36～大正10)

第5代 西 由己
第5代校長(昭和23～昭和25)

第2代 藤沢 茂登一
第2代校長(大正10～昭和10)

第6代 山林 ヨネ
本5回(昭和25～昭和26)

第3代 生田 鹿之承
第3代校長(昭和10～昭和17)

第7代 大賀 久子
本16回(昭和26～昭和30)

第4代 高柳 清
第4代校長(昭和17～昭和23)

第8代 松井 千賀子
本2回(昭和30～昭和32)



第9代 大久保 静子
本1回(昭和32～34)



第10代 吉田 寿子
本13回(昭和35～41)



第11代 大賀 久子
本16回(昭和42～55)



第12代 塚本 恒子
本26回(昭和56～60)



第13代 尾崎 公子
本37回(昭和61～平成6)



第14代 寺内 郁夫
高4回(平成7～9)



第15代 原 二郎
高4回(平成10～19)



第16代 日根野 文三
高22回(平成20～28)



第17代 須藤 隆二
高34回(平成29～)

清友会の歩み

明治36年
本科第1回卒業・清友会発会。

明治40年
創立5周年事業として済美館(木造)建設。

大正14年
済美館(鉄筋3階建)建設。

昭和9年
文部省より社団法人の認可を受ける。

昭和16年
創立40周年事業として、清友学園高等女学校を創立。

昭和33年
プール建設費(清友学園売却費)を寄贈。

昭和36年
創立60周年事業として生徒クラブ室建設費を寄贈。

昭和56年
定款により、従来の会長の呼称を理事長に変更する。

平成6年
新築体育館に緞帳を寄贈。

平成13年
創立100周年事業。空調設備寄贈。教育支援事業。歴史資料室設置等。

平成23年
社団法人「清友会」を解散決議し、「同窓清友会」に一本化する。

平成30年
全教室にプロジェクターとスクリーンを寄贈。

令和2年
済美館にWi-Fi導入、リモート理事会実施。



みなさまに知っていただきたい！ 120周年記念事業について

☆ 記念式典

令和4年(2022年)秋頃 開催予定

本年、開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により延期となり、明年、令和4年(2022年)秋頃開催させていただきます。

☆ 記念祝賀会

令和4年(2022年)秋頃 開催予定

記念事業(食堂リニューアル)の完成を祝う祝賀会を予定しています。令和4年(2022年)秋頃シェラトン都ホテル大阪(上本町)での開催を計画しています。

※会場変更等の可能性有り。詳細は確定次第、お知らせ致します。



『～創立120周年記念事業実行委員会～』
(学校・PTA・清友会が一体となって取り組んでいます)

☆ 記念事業

アクティブラーニングスペース構築(食堂リニューアル)

教育環境の改善および充実を目的として食堂を単に昼食の場ではなく、快適な自習空間へと、又、ゼミ、プレゼン発表等ができるアクティブラーニングスペースへと変貌させます。第1期では、内部の改装並びに机、椅子の全面取替を、第2期では、冷暖房空調設備の設置を行います。現在の食堂には冷暖房設備はなく第2期も必須です。

この事業により生徒は快適な昼食時間を過ごせ、先生方、さらには、卒業生皆様の集いの場としても利用可能となります。

記念事業については次ページをご参照下さい

☆ 記念誌

令和3年(2021年)10月発刊。

120周年を記念して記念誌を発行致しました。110周年記念から10年間の母校の出来事とともに、今回、明らかになった様々な歴史的事実を記しています。

タイトル 「清水谷120年 明治から令和 そして未来の友へ」
仕様形態 A4サイズ、120頁、無線綴じ
発行部数 3,500部
価 格 1,500円



☆ 記念グッズ



・Tシャツ (M L LL) 1,500円



・フェイスタオル 1,300円

・ハンドタオル 800円

・トートバッグ 1,000円



・パスケース 600円

記念グッズの販売について

記念グッズ・記念誌は事務局または総会等で販売いたします。

郵送での購入をご希望の方は次の方法でお申込み下さい。

- ①清友会ホームページ。お問い合わせフォームにご入力下さい。
 - ②清友会事務局へEメール (seiyukai@carrot.ocn.ne.jp)
 - ③清友会事務局へFAX (06-6770-5015)
- いずれの方法も、回生・氏名・ご希望の品名、点数をご記入下さい。

折り返し代金をお知らせします。ご入金確認後に配送いたします。

☆送料について：2点毎に全国一律300円です。大量のご購入の場合は事務局へご相談下さい。

☆代金のお支払いは下記銀行口座へお振込み下さい。必ずご氏名の前に回生のご入力をお願いします。振込手数料はご負担下さい。
三井住友銀行難波支店 普通預金6992035 清友会 須藤隆二

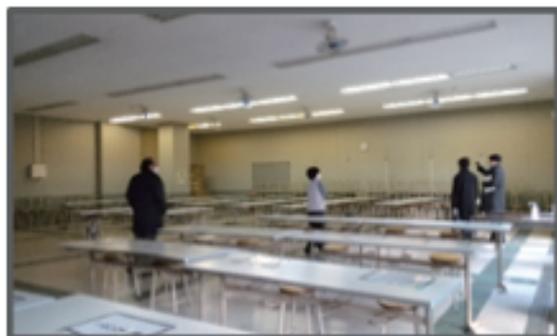
～学力向上、学習環境の改善を目指して～

創立120周年
記念事業

アクティブラーニングスペース構築 (食堂リニューアル)

食堂を憩いの場 + 学習や討論可能な多目的スペースに変貌させます

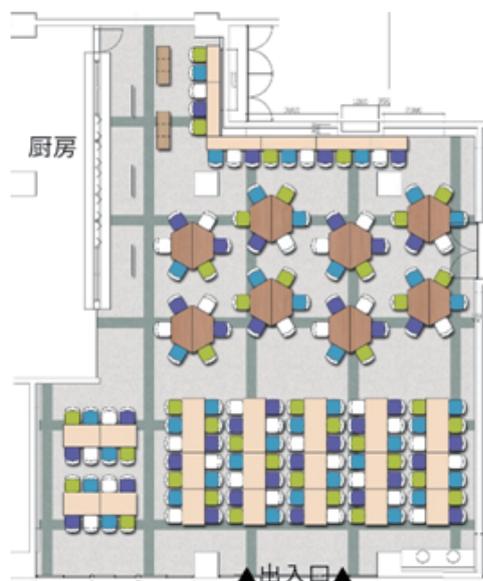
現在の食堂



完成イメージ



昼食時間の座席配置例



歓談しながら飲食できるカフェをイメージした利用が可能です。机、椅子、いずれも可動式なので配列は自由にできます。

プレゼン(講演会)座席配置例



机を折り畳み収納し椅子だけを講演者に向けて配列できます。また机が折畳み可能なので配列は自由にできます。ミニ同窓会場として利用して頂く事も可能です。

机を折りたたみ収納

壁面にホワイトボードを設置します

- 第1期として、来夏《令和4年(2022年)夏休み期間》に、食堂をリニューアル、机・椅子をすべて取替えます。
- 第2期として、冷暖房設備(空調設備)設置を計画しています。
- アクティブラーニングとは、従来の教員による一方向的な講義形式とは異なり、グループディスカッションやディベート等を通して、学習者の能動的な参加を取り入れた学習法等の総称です

既に、創立100年を超える府立伝統高の多くが同窓会の基金により食堂をアクティブラーニング可能な空間へとリニューアルさせています。今回、我が母校も、食堂をリニューアルしアクティブラーニングスペースへと変貌させ、学力向上、学習空間の改善を目指します。

みなさまからの温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

輝く清水谷の未来の為に協力をお願いします

創立120周年記念事業 寄附金募集要項

目標額	2,000万円(第1期)
使途	アクティブラーニングスペース構築(第1期)への費用を主目的 ・アクティブラーニングスペース構築(食堂リニューアル)第1期 ・記念誌の作成諸経費 ・祝賀会の案内発送等、事務関連諸経費 ・その他、120周年事業必要経費 ・食堂の冷暖房設備設置準備金(食堂リニューアル後)第2期準備金に充当 ・清友会 在校生奨学金制度(仮称)基金の準備金
募集期間	令和3年(2021年)1月1日～令和4年(2022年)12月31日
金額	1,000円以上 ※金額の多寡にかかわらず、ありがたくお受けいたします。
お振込み方法	① 郵便局でのお払込(同封の払込取扱票にてお払込をお願いします。) 口座番号 00990-1-197027 口座名 清水谷120周年記念募金委員会 (シスタニヒャクニシッジュウネンキネンホキンインカイ)
	② 金融機関でのお払込 (所属:回生・教職員・PTAとお名前をご記入下さい) 三菱UFJ銀行 大阪営業部(005) 普通預金 口座番号 1256815 口座名 大阪府立清水谷高等学校120周年記念募金委員会 (オオサカフリツシスタニコウトウカッコウヒャクニシッジュウネンキネンホキンインカイ)
	③ インターネット QRコードを読み取る、又は下記アドレスにアクセスして下さい。 クレジットカード決済をご利用いただけます。 https://salat.club/seiyukai/

ご寄附をいただいた方のお名前を「ご芳名録」に記載し済美館資料室に展示・保管しホームページのデジタル芳名録にも記載いたします。また**10万円以上**のご寄附をいただいた方のお名前はリニューアル後の食堂に設置いたします「ご芳名銘板」に掲載し末永く顕彰させていただきます。

※お名前の記載はご承認いただいた方のみといたします。

創立120周年記念事業実行委員会

お問い合わせ 清友会事務局

〒543-0011 大阪市天王寺区 清水谷町2-44 清水谷高校内

TEL:06-6768-4159 Fax:06-6770-5015 Eメール:seiyukai@carrot.ocn.ne.jp

火・金曜日 10時～16時

120周年記念募金芳名録

令和3年10月31日現在

旧教職員

石見 直美
金山 満志
日下部 尚子
詫磨 眞樹子
長井 豊治
長谷 岩友
板東 正彦
福留 勝弘
藤瀬 淳
測上 芳孝
美並 武嗣
南 太郎
宮脇 裕
村上 万里
若井 敷夫
若林 智子

本22回

末広 弘子

本39回

安西 節子

本40回

増田 和子

本41回

澤田 加津栄
森田 允子
若林 郁子

本42回

城口 多嘉子
田中 明子

本43回

赤井 美代子
北川 良子

本44回

岩崎 正子
大田 史子
小林 和子
小林 理子
中家 千代子
仲久 保壽子
好川 栖子

本45回

大久保 三三子
齊藤 千代子

本46回

後宮 サチ
柏原 愛子
細川 佳代子

本47回

西山 加代子

高2回

新本 綾子
鹿嶋 重子
北村 貞子
中島 芳子
森 政子
山田 勝子

高3回

青木 陽子
飯田 弘一
亀田 英明
高田 舜介
丹下 斐恵
中野 嘉代子
鍋島 弥栄子
林 成美

藤原 通子
三宅 一郎
山邊 澄子

高4回

木村 一彦
阪口 昭子
竹久 友康
成瀬 シ子
平尾 昌子
村上 寛昭
和田 知子

高5回

今西 義紀
梶原 三和子
河野 純也
齊藤 久美子
岡田 弘
作田 洋
澤田 淑江
白井 嘉世子
白石 怜子
西尾 俊子
沼田 浄子
浜田 富美恵
林 泰弘
廣島 潤之助
福原 守邦
政井 委久子
松山 文夫
圓井 謙三郎
宮崎 文雄
村上 雅子
安井 多津子
和田 フツチ

高6回

石崎 嘉昭
岡田 正
神田 善弘
雫本 多賀子
下辻 将夫
津田 源十郎
塚本 由利子
中家 成子
平井 茂子
藤井 則彦
南口 光彦

高7回

浅見 和子
住悦 禎子
石田 素子
出水 晴子
橘田 義弘
齋藤 秋子
坂口 孝子
坂本 真司
阪井 信夫
谷口 耕也
中野 壽美子
中村 周子
中村 喜久子
檜原 康男
安井 良子
山岡 嘉男
吉川 雅章

高8回

伊藤 吉夫
宇野 隆子
岡島 史郎
奥田 秀夫
金子 節子
河野 幸正
繁田 幸
城山 みどり

信田 律子
水津 光子
竹井 静子
辻村 善夫
西尾 芳子
西村 敷夫
西山 毅
西山 迪子
細部 昭良
松尾 明子
三原 茂子
森岡 萬喜子
吉岡 武

高9回

池田 満智子
出雲 慶子
今村 佳津子
岡田 喜行
阪口 昌子
阪口 和代
阪田 貞子
志方 美子
田中 文子
高尾 郁子
谷 博之
中川 幸枝
西島 陽子
浜口 艶
平岡 重道
福武 京子
古田 久美子
間宮 和子
森田 勉
八木 徳子
吉田 精二

高10回

飯島 貴志子
池田 基一郎
池田 美栄子
上山 伶子
岡田 あき子
片山 隆
橘田 喜和
久慈 雅子
澤井 幸子
清水 義道
新谷 清史
竹中 清史
徳山 満里子
豊島 桂次
中内 正興
中村 俊子
中山 征彦
中山 隆司
中山 世里子
西村 朝子
則枝 征克
松井 良弘
松井 慶慎
松野 剛
宮原 紀久子
村田 明美
山本 喜一郎
吉岡 道夫
吉本 淳子
米村 恭二

高14回

赤松 毅人
金沢 弘子
木村 功
北野 公造
黒田 和忠
河見 英雄
孤下 万亀子
佐藤 明司
嶋岡 通子
田中 繁之
竹内 俊一
西尾 美智恵
松井 英樹
松浦 佐登子
村田 太郎

高15回

青木 恭子
赤澤 眞樹
井出 和津子
石川 寿子
小川 佳輝
小田 登世子
岡田 歌子
荻野 美智子
荻野 樹美
景山 浩道
神村 啓子
木本 忍
北田 孝
作田 壽子

福島 重紀
松本 好生
和田 俊博

高12回

石川 善夫
岩田 良子
川口 眞子
川口 明子
菊地 鉄明
佐倉 良和
澤井 節子
杉野 利彦
田中 麻紀子
高野 康子
仲栄 成行
服部 敬子
坂東 義一
藤岡 紀子
照
増田 眞千子
松原 栄司郎
路熊 駒三

高13回

青木 恒弘
石原 斌子
今泉 正弘
笠井 嶋一
北川 睦彦
佐藤 万起
田代 万千子
新美 啓之
西 裕昭
西川 正雄
西田 光子
春田 美登子
日置 英一
平岡 里美
布藤 美里
藤岡 田鶴子
由利 真哉
湯浅 富士郎
吉見 啓子
米田 茂子

高17回

川上 厚
黒田 満夫
小林 久子
小山 暁子
杉本 味雄
武田 昌子
納富 千佳子

高18回

荒木 かず子
井上 俊子
江畑 弘
久保 光彦
近藤 郁子
外村 和枝
寺崎 典子
西野 祖秀
野崎 五郎
馬場 睦子
稗田 祀夫
平林 勝司
松原 陽子
松本 順子

高19回

生田 典子
小倉 八代子
大西 歌野子
木塚 信子
霧林 幸治
小林 一英
山海 明夫
谷崎 光子
八十八 幸子
服部 忠雄
堀池 信雄
松田 潤二郎
向井 正明

高20回

伊藤 長範

椎塚 はるひ
繁田 賢太郎
末光 慶司
銭谷 佐代子
勅使 河原直繁
勅使 河原直子
中嶋 三恵
中嶋 明
西村 郁子
日高 裕子
文 隆昭
前川 則男
増田 美也子
松田 勉
柳沢 純子
山本 征二
渡部 泰憲

高16回

乾 弘子
今永 泰子
荻野 繁之
木村 盛茂
白浜 美智恵
田原 登志子
多武 武美
中根 昌孝
難波 照美
福田 和子
目崎 五郎
藪下 弘一
湯浅 みき

高22回

厚見 彰子
伊藤 恵美子
江島 寿子
岡本 啓子
河田 光一
古賀 勝己
坂田 昌伸
塩見 祥介
竹内 幸代
辻本 信義
鳥井 敏孝
中田 敏孝
中田 雅久
中村 純造
秦 康明
日根 野文三
髭野 定芳
菱木 康夫
広瀬 宏安
松井 美智子
峯林 孝明
宮口 義治
山田 秀夫
和田 雅夫

高23回

荒川 嘉孝
今津 武治
津野 朱美
小原 和子
角田 靖子
小林 裕子
佐野 美砂子
佐藤 徹亮
坂井 幸司
須田 肇
田中 睦之
土橋 陽子
永田 勇
二野 純一
畑 佐代子
松井 浩子
良元 昌樹

高24回

石塚 はつ子
上村 修三
門田 和久
川端 嘉人

池上 祥平
今津 典子
大東 齡子
芝田 美智代
城間 重博
塚本 勤
富原 青史
富原 美恵
藤井 和幸
宮本 雅行
山中 佳央

高21回

井上 修一
川崎 泰英
木内 和二郎
嶋田 耕作
田村 雅道
田村 豊子
高野 季夫
十山 恵
橋本 利昭
原口 典子
樋上 佳徳
本多 紀子
三宅 輝子
本井 啓治

高26回

江原 豊
鳥谷 治三
川田 哲嗣
木下 永吾
野村 重之
松永 三三子
矢野 孝司

高27回

田中 友希子
當山 博志
山下 佳子

高28回

井澤 孝信
王 厚龍
田辺 幸次郎
富岡 律子
中才 敏之
橋谷 吉郎

高29回

宇津井 良彦
木村 以都美
北野 泰宏
甲田 裕隆
佐竹 美地子
山口 俊雄
山本 智子

高30回

井上 淳
岡田 英生
奥村 智子
泰 敏久
瀧口 浩史
宮澤 幸子
山根 敏嗣

河田 文秀
桐生 由美子
小林 陽子
小山 照彦
近藤 修造
提 玲子
澤田 伴子
鈴木 多枝子
田村 陽子
大村 正克
竹之下 朋章
塚本 茂
鳥山 幸嗣
中西 修一
西 裕美子
西川 充代
平須 賀玲子
山根 右二
横山 美智子

高25回

石井 利始
杉野 美智子
竹内 和彦
永浜 稔子
古川 雅一
米田 茂夫

高26回

須藤 隆二
中塚 友規子
西前 啓介
橋本 一志
原田 二美代
松岡 あゆみ
八木 淳
山田 郁子

高35回

大藪 弘彦
金原 孝子
玉城 正
西植 公哉
横路 貴美

高36回

大塚 百合子
田中 克典
馬淵 雅之
箕輪 美代子
分田 美子

高37回

稲垣 嘉憲
川西 宏和
柴田 昌典

高38回

中阪 益之
前野 千佳子

高39回

坂元 善洋

高31回
伊庭 哲也
大垣 賀津雄
大垣 早代子
杉本 光司
中村 佳世子
吉田 実

高32回

近藤 規子
田井 知絵
富坂 恵子
中川 由紀
峯 嘉隆

高33回

清岡 秀吉
後藤 康久
堤 和博
和田 千春

高34回

上荷 匡洋
梅田 剛司
川見 郁子
楠 充喜
須藤 隆二
中塚 友規子
西前 啓介
橋本 一志
原田 二美代
松岡 あゆみ
八木 淳
山田 郁子

高35回

大藪 弘彦
金原 孝子
玉城 正
西植 公哉
横路 貴美

高36回

大塚 百合子
田中 克典
馬淵 雅之
箕輪 美代子
分田 美子

高37回

稲垣 嘉憲
川西 宏和
柴田 昌典

高38回

中阪 益之
前野 千佳子

高39回

坂元 善洋

高41回
井上 学
池田 初美
仲野 智之
萩野 亮児

高42回

西本 明生
藤井 里江

高43回

井上 明彦

高44回

佐久間 正

高46回

鹿嶋 丈子

高48回

丹下 裕司

高50回

小津 奈々絵
金谷 幸江
原田 旭

高51回

大草 善宣
大西 一弘
八田 禪

高54回

飯島 亜希子
廣島 真理亜

高56回

門田 健太郎

高57回

佐藤 修一

高59回

山崎 静香

高60回

西山 晴菜
山中 数大

高61回

高山 帆洋

高66回

堀 美希

高68回

宅間 枝里子

高71回

金原 裕理

高72回

伊藤 愛美
清水 溪

その他

匿名 31名

120周年記念募金合計

旧教職員	16名	175,000円
本科	23名	283,000円
高校	493名	5,532,000円
匿名	31名	1,169,000円

合計 563名 7,159,000円

正味財産増減計算書

令和3年4月30日現在

(単位:円)

Table with 5 columns: 科目, 当年度, 前年度, 増減, 備考. Rows include 1. 一般正味財産増減の部, 1 経常増減の部, (1) 経常収益, ① 会費収入, ② 会費収入, ③ 清水谷高校教育支援基金, etc.

- *1 当年度の新年互礼会・合同会議懇親会・総会は新型コロナウィルス感染拡大状況を考慮して不開催
*2 清水谷高校支援基金残高 130,356円
*3 寄付金収入は「読劇と歴史ウォークの会」からのもの
*4 新入会員 280名
*5 会報発行費は送付通信費を含む
*6 当年度の会費は6月13日開催の理事会会場費(コロナ禍で休校中であつたため外部会場にて開催)
*7 当年度のシステム関連費はホームページリニューアル費を含む
*8 当年度の雑費は済美館の空調機洗浄費用および卒業生・新入生への応援メッセージの横断幕費用を含む

貸借対照表

令和3年4月30日現在

(単位:円)

Table with 5 columns: 科目, 当年度, 前年度, 増減, 備考. Rows include I. 資産の部, 1 流動資産, 現金預金, 貯蔵品, II. 負債の部, 1 流動負債, III. 正味財産の部, 正味財産, 正味財産合計, 負債及び正味財産合計

財産目録

令和3年4月30日現在

(単位:円)

Table with 5 columns: 科目, 金額. Rows include I. 資産の部, 1 流動資産, 現金預金, 現金手許有高, 郵便振替口座, 普通預金, etc.

令和3年度 清友会総会報告

清友会総会が令和3年7月3日(土)に、清水谷高校内済美館の2階にて開催された。総会は委任状88名を含む114名の出席者があり、議事録署名人に山口元美理事、橋本一志理事が選任された。議事案に沿って昨年度の事業報告、決算報告・会計監査が報告され、全会一致で可決された。引き続き令和3年度の事業計画(案)並びに収支予算(案)が提案されこれについても拍手多数にて承認された。また本年度は役員改選の年度であるため令和3年・4年度の会長・理事・監事候補が提案され、これを諮ったところ、全会一致で承認され全ての議事が終了した。

総会終了後、創立120周年記念事業について説明会が開催された。また本来ならその後懇親会が盛大に催されるところではあるが、新型コロナ感染防止のため昨年同様、懇親会は中止とした。

令和2年度 事業報告

Table with 3 columns: 行事, 項目, 日時・内容, 備考. Rows include 総会, 総会懇親会, フェスタ清友, 二十歳になったら清水谷, 清友会フューチャー懇親会, 新年互礼会, 東京支部総会, 東海支部総会, 広報事業, 会報「清友」の発行, WEBページの運営, Facebook、LINEでの発信, 文化・スポーツ等交流事業, 観劇と歴史ウォークの会, 各種講演会, 各種文化講座, ゴルフ会, その他事業, 在校生教育支援事業, クラブ活動奨励事業, 学年同窓会等支援事業, 創立120周年記念事業, 各種会合, 理事会, 回生幹事会, クラブ代表会, 合同会議

監査報告書

私は令和2年5月1日から令和3年4月30日までの事業年度の業務執行状況、貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録並びに関係諸帳票、証拠書類について監査しました結果、適法かつ正確であることを認めます。

令和3年5月10日 清友会 監事 須田 肇
監事 上村 修三

令和2年度賛助金芳名録

本28回

故 矢野 富子

本40回

北川恵美子
増田 和子

本41回

中川 輝子
箕浦 政子
若林 郁子

本42回

尾崎 孝子
城口多嘉子

本43回

赤井美代子
大橋 悦子
北川 良子
小亀 幸子
玉井万里子
中山 育枝
本城 智枝

本44回

金森 信子
小林 和子
中家千代子
山村知恵子

本45回

斉藤千代子
三木エツ子

本46回

広畑 昌子

高2回

小林 芳子
佐々木淳子
塩田 節子
長谷川羊千
山田 勝子

高3回

阿部 晴子
青木 陽子
井田 幸子
乾 ひろ
岩田 浩
亀田 英明
小松美代子
白井 淳二
高田 舜介
丹下 斐恵
中野嘉代子
鍋島弥栄子
林 成美
藤原 通子

高4回

妹背 一代
奥邨 正寛
木下 晃太

小谷野八重子
高川 陽子
高川 静
竹久 友康
成瀬トシ子
村田 方子
和田 知子

高5回

斉藤久美子
阪田 弘
澤田 淑江
白井嘉世子
白石 怜子
辻仲 君子
西田 芳行
廣島潤之助
松山 文夫
圓井謙三郎
和田ヲツチ

高6回

井上 芳子
石崎 嘉昭
大磯 隆一
大竹 晟介
岡田 正
小宮山芙美子
田中 襄二
中園 弘子
鳩沢 勲彦
藤井 則彦
三堀 俣

高7回

浅見 和子
生悦住禎子
出水 晴子
河野 道雄
橘田 義弘
小林 豈代
齋藤 秋子
坂口 孝子
坂本 真司
阪井 信夫
中村喜久子
本間千恵子
安井 良子
山岡 嘉男
故 吉川 雅章

高8回

青井和志子
宇野 隆子
岡田聖代子
奥田 秀夫
河野 幸正
熊谷真理子
瀬田 治子
竹井 静子
玉田 洋
西尾 芳子
松尾 明子
三原 茂子
村上 清美

高9回

出雲 慶子
今村佳津子
梅原 秀元
大浜 宏介
左海 靖子
阪口 昌子
三崎喜美子
志方 美子
高尾 郁子
谷 博之
中川 幸枝
浜口 艶
平岡 重道
森田 勉
八木 徳子
吉田 精二

高10回

有末 康義
飯島貴志子
生駒 明子
今田 憲吾
上山 伶子
岡田あき子
片山 隆
清水 義道
新谷 順一
田中 恵子
竹中 清史
松井 征克
松井 慶慎
溝田嘉代子
宮原紀久子
村田 明美
森田 靖子
吉本 淳子
渡辺 宣昭

高11回

大西紀久子
大西 紀子
杉本 睦美
故 田中 修二
田保 勝治
谷 八重子
羽路嘉代子
日合 弘
福島 重紀
和田 俊博

高12回

石川 善夫
岩田 良子
川口 眞子
川口 明子
菊地 鉄明
澤井 節子
杉野 利彦
田中麻紀子
高野 康子
仲栄 成行
服部 敬子
日高 敏子
増田眞千子

山西とも子
路熊 駒三

高13回

青木 恒弘
石田 通子
石原 斌子
田代万千子
田中 克彦
遠矢 太郎
新美 啓之
西 裕昭
西川 正雄
西田 光子
日置 英一
湯浅富士郎

高14回

有馬 淑子
池谷 淳美
岡崎 弘
河見 忠雄
嶋岡 通子
田中 繁之
竹内 俊一
武田 義彦
西尾美智恵
松井 英樹
松浦佐登子
山口千代子
吉田 朋史

高15回

井出和津子
石川 寿子
小川 佳輝
荻野 樹美
神於 啓子
川口凌太郎
木本 忍
小島喜代三
小林 道代
作田 壽子
末光 慶司
谷風 三郎
勅使河原直繁
勅使河原道子
遠矢美恵子
中西 完治
中村 澄子
夏川三知子
林 温子
日高 裕子
文 隆昭
増田美也子
渡部 泰憲

高16回

植村 本
荻野 繁之
木村 盛茂
立花 潤子
中根 昌孝
三浦 敦子
藪下 弘一

高17回

大内 彦弘
黒田 満夫
小山 暁子
杉本 末雄
角田 昭弘
中田美佐子
山本 修子

高18回

荒木かづ子
江畑 弘
岡崎 謙二
北野 恵三
近藤 郁子
後藤 久夫
新川 皓介
住谷はつゆ
外村 和枝
高澤 信安
中村 方子
野崎 五郎
能登 昌夫
稗田 祀夫
平林 勝司
松原 健一
松本 陽子
八束 順子

高19回

生田 典子
岩井 一美
小倉八代子
大西歌野子
霧林 幸治
小林 一英
小林 由幸
故 斉藤 恵子
下前 寿孝
服部 忠雄
三木 英明
向井 正明
村上 慎次
森口 二郎
矢野 直

高20回

伊藤 長範
池上 祥平
今津 典子
加山 恵一
河村 巧
木田美智代
久下 泰広
芝川 重博
塚本 青史
中崎利枝子
西村 隆治
藤井 和幸
宮本 雅行

高21回

井上 修一
生田 未治
榎田 慎悟

岡林 裕修
川崎 泰英
嶋田 耕作
鈴木 順子
十山 恵
豊田 温順
橋本 利昭
樋上 佳徳
三宅 輝子
八木 常雄

高22回

伊藤恵美子
河田 光一
古賀 勝己
坂田 昌伸
鳥井 敏孝
中田 雅久
丹羽 裕子
日根野文三
髭野 定芳
広瀬 安宏

高23回

東 雄二郎
荒川 嘉孝
今津 武治
宇野 朱美
小原 和子
角田 靖子
小林 裕子
坂井 幸司
須田 肇
田中 睦之
鳥居 洋子
土橋 陽子
永田 勇
堀江 清美
松井 浩子
村上知永子
良元 昌樹

高24回

石塚はつ子
上村 修三
岡田 公子
河村 茂
小林 陽子
近藤 修造
田中 佳子
鳥山 幸嗣
平須賀玲子
山林 右二

高25回

楠目 修子
杉野美智子
田畑きよみ
武部 好伸
古川 雅一
米田 茂夫

高26回

江原 豊
尾上 祐子

木下 永吾
滝川 敏算
松永三三子
松原 一典
吉田 泰治

高27回

小尾恵恵子
桐生 匡子
菖蒲 広明
田中 稔
田中友希子
中西 幹子
森本かおり

高28回

井澤 孝信
金 井子
中才 敏之

高29回

宇津井良彦
木村以都美
北野 泰宏
黒田 英美
甲田 裕隆
松原とも子
山内 克則

高30回

奥村 智子
泰 敏久
平山 大澈
袋尻 典子
宮澤 幸子

高31回

伊庭 哲也
中村佳世子
二野宮浩志
森 通妥子

高32回

富坂 恵子

高33回

故 金本 昌邦
清岡 秀吉
後藤 康久
和田 千春

高34回

上荷 匡洋
梅田 剛司
狩野 寿江
川島 康裕
川見 郁子
楠 充喜
須藤 隆二
中塚友規子
西前 啓介
原田二美代
松岡あゆみ
山田 郁子

高35回
大藪 弘彦
木田 浩司
北野 勝也
玉城 正
横路 貴美

高36回
大塚百合子
馬淵 雅之
村上 可枝
山内 英子

高37回
岡田 裕久
柴田 昌典

高38回
中阪 益之

高40回
植田 素行
藤川 潤子

高41回
渡辺 洋右

高42回
中村 俊博

高43回
井上 明彦
小林 満

高51回
八田 禅

高52回
村上由希子

高57回
佐藤 修一

高60回
西山 晴菜

高66回
堀 美希

その他
匿名 23名

賛助金合計

本科	22名	150,000円
高校	376名	2,121,169円
匿名	23名	113,000円

合計 421名 2,384,169円

賛助金へのご協力ありがとうございました。

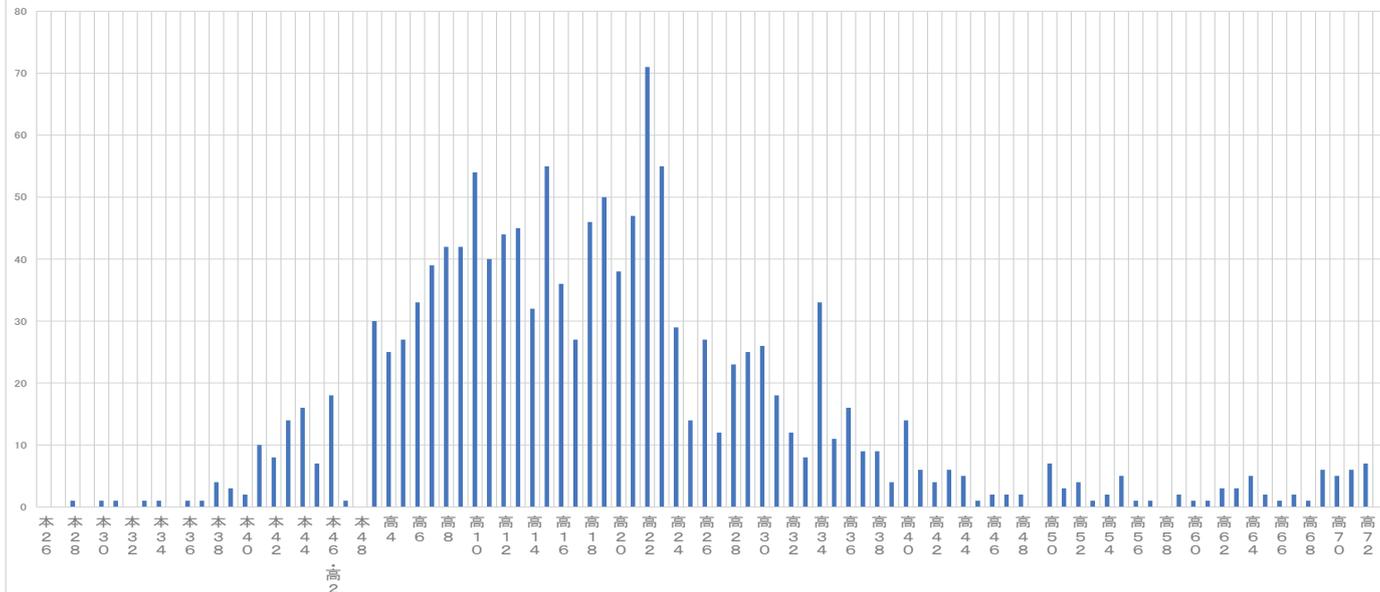
昨年度は343名、本年度は421名とさらに多くの皆様からご芳志が寄せられました。誌面をお借りして厚く御礼申し上げます。頂戴いたしました賛助金は、母校と清友会の発展のため、大切に活用させていただきます。今後ともよろしく願い申し上げます。

会長 須藤 隆 二

年会費（¥2,000）納入と賛助金にご協力下さい！

年会費は済美館の維持管理、会報の発行、母校支援等に必要不可欠な財源です。本来、会の運営は年会費によって賄われるべきところですが資金的に十分な状況ではありません。会費収入を補完すべく「賛助金」制度を実施しております。会員の皆様におかれましては年会費の納入と賛助金へのご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

令和2年度 回生別年会費納入状況



新型コロナ下での学校行事

教頭 大谷 勉

清友会会員の皆さまにおかれましては、平素より本校教育活動にご支援いただき、感謝申し上げます。令和2年度の学校行事についてご報告いたします。

(1) 文化祭 9月4日(金)

映像部門(ビデオ映像作成)、校舎内部門(お化け屋敷やゲーム、縁日等)、体育館部門(体育館での企画)、視聴覚部門(視聴覚教室での演劇等)の4部門とし、感染リスクの高い企画を避けたものとなりました。食品バザーは茶道部のみ、手作りバザーは家庭科部が参加しました。オーケストラ・アンサンブル部や合唱部、書道部、ギター部、ダンス部は体育館で発表しました。保健委員が1時間30分ごとに換気状況を点検するなど感染対策を徹底しました。密を避けるため保護者を含めた外来者の来場も取りやめました。



(2) 体育祭 9月17日(木)

感染リスクの高い種目は避け、熱中症対策として午前みの開催とし、全生徒が『学年競技+1種目』に参加できるよう工夫しました。縦割りの「合戦」は断念し、各学年で「エール」を送りあう「われらのエール」は行ないました。保護者を含めた外来者の来場も取りやめました。



・(熱中症対策)

- ・各学年にテント4張を設置。こまめな水分補給と応援時の帽子着用や日傘使用。
- ・「オリジナルうちわ」(デザインは美術部)や冷凍スポー

- ・ツドリリンクの配付。
- ・救護テントにスポットクーラーを設置。

(3) HR合宿 10月26日~29日

当初は各家庭での農業や漁業などの体験を予定していましたが、同じホテルでの3泊4日に変更となりました(宿泊ホテルは感染対策が徹底されていました)。また『GoToトラベル事業』を活用することができました。

(第1日) 関西空港にABCE組は6:50、DFG組は8:00に集合しました。体調不良者もなく関西空港を出発、飛行機内では機長から「HR合宿を楽しんでください」と清水谷高校の生徒へ向けてのアナウンスもありました。玉取崎展望台から見える絶景に息をのみ、川平湾ではカメラを見つけて喜んで、グラスボートも体験しました。



(第2日) クラスごとに御神崎灯台、底地ビーチ、石垣やいま村、石垣島鍾乳洞などを観光しました。御神崎灯台にある高台からは東シナ海が一望でき、底地ビーチでは足をつけて水遊びを楽しみました。



(第3日) サイクリングやシュノーケル、マングローブカヌー、石垣焼体験など7つのコースに分かれました。夜は全員でレクリエーション、HR合宿係の準備のおかげで楽しく過ごせました。

(最終日) 石垣市街地周辺と那覇国際通りの2ヶ所に分かれた後、大阪伊丹空港に到着しました。病気やケガをした生徒もなく、楽しく思い出に残るHR合宿となりました。

(4) 春月祭

12月を予定していましたが、練習時における感染への不安が払拭できないため、中止になりました。

(5) 耐寒行事

2月10日を予定していましたが『緊急事態宣言』のため中止になりました。

73期生進路状況

1. 進路分野

大 学			短大	専門	就職	浪人	その他	計
国立	公立	私立						
26	15	208	7	7	2	14	1	280

2. 国公立大学合格者数

*進学辞退者が2名

学校名	推薦	前期	中期	後期	合計
神戸大		1			1
大阪教育大		6		2	8
奈良女子大		1			1
奈良教育大		4			4
京都教育大	1	1			2
和歌山大		4		2	6
広島大		1			1
鳥取大		1			1
宮崎大				1	1
東京海洋大		2			2
大阪市立大	1	8			9
大阪府立大	3				3
兵庫県立大			1	1	2
滋賀県立大		1			1
埼玉県立大		1			1
合 計	5	31	1	6	43

3. 主な私立大学の合格者数

	延べ合格者数	実合格者数	内指定校	入学者数
関西大学	117	59	14	43
関西学院大学	29	25	7	16
同志社大学	20	14	5	12
立命館大学	9	8	1	4
合 計	175	106	27	75
京都産業大学	0	0	0	0
近畿大学	229	88	5	39
甲南大学	5	5	1	2
龍谷大学	76	29	1	11
合 計	310	122	7	52

4. 進路先一覧

京都教育大	2	関西大	43	畿央大	5
大阪教育大	8	関西福祉科学大	1	帝塚山大	1
神戸大	1	近畿大	39	奈良大	1
奈良教育大	4	森ノ宮医療大	3	関西女子短	1
奈良女子大	1	摂南大	5	城南女子短期大	1
和歌山大	5	大阪医科薬科大	3	大阪学院短大	1
東京海洋大	2	大阪経大	2	大阪成蹊短期大	1
広島大	1	大阪経大	4	白鳳短期大	2
鳥取大	1	大阪芸大	2	武庫川女子短大	1
宮崎大	1	大阪工大	1	大阪医療センター附属看護	1
大阪市立大	9	大阪国際工科専門職大	1	関西医療学園	1
大阪府立大	3	大阪国際大	1	浅香山看護専門学校	1
兵庫県立大	1	大阪樟蔭女子大	1	大阪ビジネスカレッジ	1
滋賀県立大	1	大阪成蹊大	2	大阪ベビィ動物看護	1
埼玉県立大	1	大阪大谷大	1	大阪済生会中津看護専門	1
京都外大	1	大阪電気通信大	1	日本分析化学	1
京都女子大	3	大和大	4	就 職	2
嵯峨美術大	2	追手門学院大	4	浪 人	14
大谷大	1	帝塚山学院大	2	そ の 他	1
同志社女子大	6	関西学院大	16		
同志社大	12	甲南女子大	1		
立命館大	4	甲南大	2		
龍谷大	11	神戸学院大	1		
関西医療大	1	神戸女学院大	1		
関西外大	8	武庫川女子大	11	合 計	280

部活動の様子 <文化部>

オーケストラ・アンサンブル

- 8月 兵庫県多賀郡にて万全なコロナ対策のもと、合宿を実施
- 9月 保護者・OB対象中庭コンサート
- 12月 てんのうじ吹奏楽フェスティバル(オンライン) 出演
- 第27回全国高等学校選抜オーケストラフェスタ(オンライン) 出演
- 2月 第41回大阪府高等学校芸術文化祭(無観客開催・オンライン) 出演
- 4月 初めての単独演奏会ネモフィラコンサートを有観客で開催

ESS

アットホームな雰囲気でのびのびと活動しています。昨年度は文化祭教室企画にも参加しました。

華道

部員は4人ですが、徐々に3学年そろいました。生け花競技会や文化祭来校者向けの体験会などはできませんでしたが、おけいこの成果を、文化部発表会・文化祭などで発表しています。

ギター

- 第14回全国高等学校軽音フェスティバル(大阪城野外音楽堂)
- J:COMオータムフェス(ZeppNamba)
- 第41回We are Sneaker Ages
- 全国高等学校軽音楽部対抗バンドバトル
- 第41回芸文祭フインターフェスティバル
- 昭和ベストヒットコンサート

合唱

- 新型コロナの影響を受け、コンクールをはじめ数々の演奏の機会がなくなった1年でした。それでも自主企画のコンサート等、工夫を凝らした活動を行っています。
- 8月 黄昏コンサート(東大阪市文化創造館)
 - 10月 教会コンサート(神戸御影の家ベテル)
 - 11月 中村哲医師追悼&支援コンサート(オンライン・コンサート)
 - 12月 クリスマス・コンサート(南港サンセットホール)
 - 1月 ニューイヤーミニコンサート(住吉区民ホール)
 - 1月 第41回大阪府高等学校芸術文化祭(東大阪市文化創造館)
 - 3月 アンサンブル・ソロ・部内発表会(住吉区民ホール)

茶道

4月に新入生5名を迎え、現在2年生7名、3年生4名の16名で活動しています。作室での密を避けるため、分散して練習に励んでいます。昨年も文化祭ではお茶会を開き、先生や生徒の皆さんにお茶を楽しんでいただきました。

自然科学

- 2種のアサガオを栽培し、花色の違いが布の染色に与える影響を調べる実験をしました。
- 文化祭では、半球ドームでプラネタリウムを上映しました。閉じた空間でも安心してもらえるよう、説明はすべて事前に録音して行いました。また、参加型の簡単な実験を紹介しました。

箏曲

部員全員で協力しながら曲の完成に向け頑張っています。昨年度は大阪府高等学校芸術文化祭に出演し、日々の練習の成果を発表しました。

美術

- 文化祭教室企画に出席。
- 展覧会が中止になり出席することはできませんでしたが、部員19名が作品を完成させることができました。

電子工学

コロナ禍で安定した活動ができず、学校紹介ビデオ作製もなかなか進まない状況です。部員もフラストレーションの溜まる日々ですが、『深呼吸』しつつ頑張っています。

書道

- 第41回大阪府芸文祭 入選(11)内、奨励賞(3) 全国大会出場(1)
- 半紙コンクール 大賞(2) 準大賞(3) 連盟賞(1) 研究会賞(1) 優秀賞(4) 佳作(1)

囲碁・将棋

今年度、女子部員を迎え、計5名で活動しています。昨年度は大会への出場はありませんでしたが、今年度は出場を予定しています。

ダンス

第12回大阪府高等学校芸術文化祭 ダンス部門コンテストに出場

家庭科

文化祭では、「プレスレット作り」のお店を出しました。例年の調理店とは違い、お客さんが好きなビーズを選んで作るという体験型の取り組みでした。普段の活動は、手芸中心でしたが、調理も方法を工夫して何度か実施しました。

競技かるた

- 第40回近畿高等学校総合文化祭小倉百人一首かるた部門(Web開催) 大阪府代表選手(2名)
- 第41回大阪府高等学校芸術文化祭小倉百人一首かるた部門大会 個人戦優秀(2名)
- 第70回高松宮記念杯 C級優勝(1名) C級4位(1名)

部活動の様子 <運動部>

陸上競技

- 大阪府高等学校陸上競技種目別選手権大会 女子走幅跳・中央大会8位入賞(73期3年)
- 第74回大阪府高等学校陸上競技対校選手権大会 男子400m 50秒49・準決勝進出(74期3年) 男子4×400mR 3分23秒64・準決勝進出

サッカー

- 令和2年度第75回大阪府総合体育大会 5回戦進出
- 高円宮杯U-18 サッカーリーグ2020 OSAKA
- 4部中河内・南河内ブロック4位
- 第36回天理カップサッカー大会 予選敗退
- 令和3年度大阪府春季サッカー大会 1回戦敗退

ラグビー

- 第72回近畿高等学校ラグビー大会大阪府予選(出場)
- 第76回大阪府高等学校総合体育大会(出場)
- 第100回全国高等学校ラグビーフットボール大会予選(出場)

柔道

現在、休部中

剣道

- 剣道優勝大会 団体戦(女子)：初戦敗退(VS金光大阪)

- 大阪高校総体 団体戦(女子)：1回戦勝利(VS帝塚山学院泉が丘) 2回戦敗退(VS東海大仰星)

- 大阪高校新人大会 団体戦(女子)：初戦敗退(VS大阪国際大和田) 個人戦(男子)：初戦敗退(1名) 個人戦(女子)：初戦敗退(2名)

- 秀剣要剣道大会 リーグ戦(女子)：×(VS寝屋川)・○(VS大手前) 引分(VS高槻北)・○(VS八尾) 個人戦(女子)：初戦敗退(1名)

男子バスケットボール

- 大阪府高等学校選手権大会(出場)
- 大阪府高等学校新人大会(出場)

女子バスケットボール

- 第73回大阪府高等学校バスケットボール選手権大会 1回戦 48-57(VSあべの翔学)
- 第68回大阪府高等学校バスケットボール新人大会(東地区) 1回戦 62-30(VS長野) 2回戦 156-7(VS大教大平野) 3回戦 不戦勝 4回戦 緊急事態宣言発令につき実施せず。
- 第76回大阪府高等学校総合体育大会バスケットボール大会 54-65(VS香ヶ丘リベルテ) 34-86(VS茨木西) 57-55(VS工芸) 28-104(VS明浄学院)

男子バレーボール

- 大阪高校総体 1回戦敗退
- 大阪府新人大会一次予選(部別) 2部残留
- 公立高校大会 予選敗退
- 大阪府新人大会二次予選 1回戦敗退

女子バレーボール

○現在部員25名。

- ウィンターカップ 1部リーグ進出 4位
- 秋季部別大会 1部リーグ3位(1部残留)
- 春季部別大会 新型コロナ感染拡大のため中止(1部残留)

卓球

- 大阪府高等学校総合体育大会卓球の部 男子団体 1回戦突破 女子団体 ベスト16
- 2020特別普及(ニッタク協賛)大会 女子シングルの部 3位トーナメント優勝
- 全国選抜シングルス大阪府予選 女子シングルの部 ベスト8

男子硬式テニス

昨年度は、3学区テニストーナメントにおいてシングルス、団体の部ともに予選優勝を果たしました。さらに団体の部では、本戦においても勝ち進み5位の成績を残すことができました。今年度は新入生も13名入部し、昨年以上の成績を残したいと思っています。

女子硬式テニス

- 第3学区テニストーナメント 団体の部 第3位
- 大阪府高等学校秋季テニス大会 1部本戦出場 2部第3位

男子軟式テニス

現在、2年生2名と人数はともて少ないですが、公式戦で一つでも多くの勝利ができるよう、日々練習に励んでいます。

女子軟式テニス

- 大阪府立公立高校ソフトテニス研修大会 ブロック予選 中央大会進出が2ペア(ベスト8・ベスト16)
- 大阪府高等学校新人ソフトテニス大会

- Dブロック予選(中央大会進出が1ペア)

硬式野球部

- 令和2年度 秋季大会 2回戦 5-11(VS大商大高)
- 令和3年度 春明大会 1回戦 0-7(VS大阪学院大高) いずれの大会も連合チームでの試合でした。

水泳

多くの大会が中止となる中、最終的に近畿新人大会に2名の選手が出場できました。自らの力で状況を判断し、考える力が必要な1年でした(現在32名)。

男子バドミントン

- 高体連 シングルス(ベスト16)
- 3学区大会 ダブルス(ベスト8・ベスト16) シングルス(3位・ベスト8・ベスト16)
- グリーンカップ シングルス(3位)
- 公立大会本戦 シングルス(ベスト16)

女子バドミントン

- 公立高校旧第3学区バドミントン大会 シングルス(3位)、ダブルス(2位)
- 公立高校旧第3学区バドミントン大会初心者の部 シングルス(3位)、ダブルス(1位)
- 第68回大阪府高等学校バドミントン選手権大会(冬の大大会) シングルス2部(ベスト64)
- 第10回大阪府立高等学校バドミントン大会 ダブルス(ベスト32)

～母校を飛翔させる～ 教育支援基金にご協力を！

会長 須藤 隆二

清友会では母校の教育支援活動に取り組んでいます。主な活動は、(1)中学生向けの清水谷高校PRパンフレット作製費用の助成、(2)在校生向け講演会の実施、(3)成績優秀なクラブ等への支援金交付、(4)済美館2階を自習室として開放、(5)学習機材の寄附などです。

こうした支援活動を実施するため平成23年より清水谷高校教育支援基金が創設され、多数の会員の皆様から総額300万円を超えるご寄附を頂き、一昨年度は(5)学習機材の寄附として全23教室にプロジェクター用スクリーンを寄附させて頂きました。

今後も教育支援活動を継続し母校を飛翔させるために多数の皆様のご協力を切にお願い申し上げます。

☆ご協力に際しては下記銀行口座にお振込みをお願い致します。お名前の前に回生をご入力の上お振込み下さい。

三菱UFJ銀行谷町支店 普通預金35110939 清友会 会長 須藤隆二

令和2年度教育支援基金芳名録

- | | | |
|-------|--------|-------------|
| 高24回 | 川見 郁子 | 元井 真紀子 |
| 上村 修三 | 須藤 隆二 | 森 映 |
| | 仲宗根 信成 | 山本 潤 |
| 高33回 | 中塚 友規子 | 吉田 恭二 |
| 山口 元美 | 橋本 一志 | |
| | 長谷川 貴子 | 高54回 |
| 高34回 | 日野 史枝 | 川西 賢志郎 |
| 石田 康子 | 林 順子 | |
| 岩井 佳世 | 平井 理子 | |
| 奥野 佳景 | 平木 弘子 | |
| 梅田 剛司 | 船越 義晴 | |
| 楠 充喜 | 前原 寛子 | |
| 金本 幸秀 | 松村 博幸 | 合計 185,000円 |

特集1 社会の各方面で活躍されている卒業生をご紹介。へえ～こんな人いるんだ！

各界で活躍する卒業生



「健康に生きる」

馬場記念病院脳神経外科部長
高34回 **金本 幸秀**
奈良県立医科大学卒

今ある健康がいつまで続くのかなどを意識する人は少ないでしょう。生き物は、多くの細胞が目まぐるしい変化を絶えず起こすことによって、短期間ではあたかも変化が起こっていないかの様に見えます。しかし、長期的には老いや病気になることによって、その変化を自覚します。

健康に生きるためには、代謝（異化と同化）が正常に行われる必要があります。異化とは、細胞内のミトコンドリアでエネルギーであるATPを作ることです。同化は、そのエネルギーを使って遺伝子の設計図に従い細胞を作ることです。発電に当たる異化が十分に機能しないと、エネルギー不足に陥り、あらゆる不定愁訴の原因となります。更に細胞を作る材料やエネルギーが不足すると、同化も上手く行かず、あらゆる疾患の要因となります。

“人は摂取する物によって作られる。” 正にその通りです。未来の姿は毎日の積み重ねで必ず変わります。『健康に生きる』ためには、毎日の十分な栄養摂取が基本です。



「コロナ禍の中で」

フリーカメラマン
高40回 **沖村 志宏**
大阪芸術大学卒

1992年に大学を卒業して映像業界に入り、早29年の月日経ちました。一見華やかに見える映像業界ではありますが、浮き沈みが激しく、厳しい競争社会の中、ここまで続けて来られたのも、ひとえに人間関係の繋がりのお陰です。昨年のコロナによる1回目の緊急事態宣言では、業界全ての仕事が一斉にストップしてしまいました。この未曾有の事態に陥り、フリーの立場としては、収入が途絶えてしまい、生活の不安がスタッフに拡がりました。暫くして、持続化給付金の制度が出来、申請方法など複雑な手続きの情報がフリーのスタッフ間のネットワークを通じて拡がっていきました。改めて、人間関係の繋がり大切さが身に沁みました。長引く自粛生活で鬱になる人が増えたと報道がありましたが、人々に心の支えになる様な作品を届けたいと切に願うばかりです。



「つなぎ役の世代」

大阪芸術大学客員准教授
高45回 **谷口 真由美**
大阪大学大学院国際公共政策研究科博士課程修了

この数年、清水谷出身の方と、お仕事やプライベートで一緒することが増え、また、2018年には45回生全体の同窓会もようやく初めて開催でき、ご縁が紡がれたり、再び紡ぎ直されたりしています。

45回生は、旧校舎、プレハブ、現校舎を経験した世代です。世間では、団塊ジュニアやロスジェネレーションともいわれていますが、清水谷との関わりでいえば、校舎の話だけで、どんな

世代の方にも話が合わせられる特徴もあると思っています。中年期でもある私たちは、つなぎ役の世代でもあるのだろうと感じます。

最近、お仕事をご一緒にしたラグビーの静岡ブルーレヴズの上田弘之さん（高39回）とは、レトロな校舎の話題で盛り上がったお陰で、たくさん助けて頂きました。

母校のさまざまなご縁に感謝し、120周年をお慶び申し上げます。



日根野公認会計士事務所 税理士法人 日根野会計事務所

公認会計士
税理士
医業経営コンサルタント

所長 **日根野 文三** 高22回

〈公益社団法人日本医業経営コンサルタント協会認定登録〉
〒540-0024 大阪市中央区南新町2丁目3番7号 塚本ビル7F
TEL 06-6942-1888(代) FAX 06-6942-3177
E-mail: b-hineno@hineno-ao.com

須藤・大場法律事務所

SUDO&OBA LAW OFFICE



弁護士 **須藤 隆二** (高34回)

平成4年大阪弁護士会登録

〒530-0047
大阪市北区西天満1丁目8-9
ヴィークタワー OSAKA 2102
TEL: 06-6312-1610 FAX: 06-6312-1611
URL: <http://www.solaw.jp>
取扱分野、アクセスなどはHPをご覧ください。

母校の教壇でご活躍中の卒業生をご紹介。えっ！あの先生卒業生?! 特集2

母校で活躍する卒業生



「清水谷に残したいもの」

高21回 川崎 泰英 保健体育科

本当に早いもので、母校で勤務して19年が過ぎようとしています。今新校舎となり、高校生として過ごした清水谷の面影を残すのは、55年前の入学式の桜、陸上部で練習を繰り返した正門からの坂、図書館として利用した済美館、ドンと構えた楠、思い出の詰まったグラウンド、そして制服だけとなりました。しかし、今も変わらないものがあります。それは、何と言っても清水谷生の“優しさ”だと思います。

夢であった“清水谷で体育の先生”が現実のものとなり、この19年間私なりにやってきました。現役生には「母校は清水谷です」と卒業後胸を張って言えるように語り続けたいと思います。

これからも清水谷に残せるものは何かを考え、まだまだ頑張りたい気持です。



「清水谷高校10年生として」

高59回 高田 雄 数学・情報科

当時小学生の自分が見た、長堀通り沿いの石垣にかかった「清水谷高校は100周年を迎えます」という垂れ幕。その20年後に周年行事の担当教員をしているとは夢にも思いませんでした。120周年を迎えた今、母校で教員として働いていることを本当に嬉しく思います。清水谷で教壇に立ち7年目になりますが、ふと学生時代を思い出す時があります。担任の先生の渾身のジョーク、HR合宿中バスの中で騒ぎすぎて怒られたこと、餅つき大会で臼を壊したことなど、清水谷での楽しく充実した日々の経験が今の自分の教員としての根底にあります。まだまだ教員として勉強中の身ですが、清水谷高校でこれからも学び続け、自分の後輩になる生徒たちに何か1つでも伝えられればと思っています。「母校で活躍」なんてとてもおこがましいですが、「母校で奮闘」くらいは言えるように頑張ります。



「母校と恩師への感謝を込めて」

高33回 大森 登美代
地理・公民科

私の高校時代はソフトボール部での部活動に明け暮れました。仲間にも恵まれ、助け合い、喜び合う日々の活動を支えて下さったのは顧問の先生のご尽力に他なりません。また、文化祭で1年時研究発表の組テーマは「瀬戸内海の赤潮汚染」。今でいう「ジェンダー」や「環境問題」「平和」についての発表が多く、SDGsの問題意識を先取りしていた学校でした。恩師には21世紀を生きる私達の未来が見えていたのでしょうか。個性豊かな担任団のもと、「他者と同じでなくてもよい」と自然に思える環境がありました。

そして清水谷に教員として赴任し、担任をもった64期生は行事を楽しむ活発な学年で、生徒達はいつも私の予想を超えるアイデアと頑張りを発揮することで大きく成長しました。

現在、首席と総務部長を兼務させていただいております。母校と恩師への感謝を込めて、未来の清水谷を創る生徒達の「学び」がより豊かになるよう更なる努力を続けて参ります。



康 勝明 先生 (高30回) 英語科



足立 隆之 先生 (高33回) 体育科

他にも活躍されています



前田 理 先生 (高45回) 体育科



村井 博司 先生 (高50回) 体育科

ハンマー製造70年の歴史

作業工具と物流機器
オーエツチ工業株式会社

▼ <http://www.ohnet.co.jp/>



〒578-0921 東大阪市水走4丁目9番3号
TEL(072)963-2221(代) FAX(072)963-2226
代表取締役 清水義道 (高10回)



社会福祉法人 しんもり福祉会

平和の子保育園

大阪市立 両国保育所 (委託運営)
tel.06-6951-3083

留守家庭児童対策事業 平和の子 子どもの家

障がい児通所支援事業
らっこデイサービスセンター
tel.06-6954-5523

〒535-0022 大阪市旭区新森7-1-5 tel.06-6954-0524 fax.06-6954-1961

理事長 松野五郎 (高8回)
社会福祉士



回生だより

歌声はるか

本43回 赤井 美代子

入学後はじめての朝礼で、上級生の方々の歌う朝礼の歌を聞きました。「心もすがしき朝のつどい 楽しく嬉しく幸ある日よ いざいざ励まん今日の一日 一日の幸をば祈りてゆかむ」天使の声のように美しく清らかな歌声でした。それからは創立記念日、ひなまつり、卒業を祝うなど行事のたびに美しい合唱を聞かせて頂き、新入生もいつのまにか御一緒に声を合わせていました。大戦時の大阪大空襲で我が家は罹災し清水谷時代の大切な教科書ノート参考書、集めていた本もすべて灰になりました。形ある思い出を失った私を救ってくれたのは、変わらない友の温かいやさしい心と美しい歌の思い出でした。今も本当に感謝しています。百二十周年を迎える母校にこれからも美しい心と歌が伝えられてゆくよう祈っております。

百二十年 新樹光あり 母校あり

「創立記念日の歌」

いづみの^{みづみ}の^の^みの^の 仙^{せん}人が^が 御^ご代^{だい}祝^{しゆ}いつつ^{いつつ}斧^{きり}入^いれて^て 飛^と騷^{さう}の^の国^{くに}の^の匠^{たくみ}らが^が 心^{こゝろ}を^をこめて^{こめて}墨^{すみ}打^{うち}ちて^{ちて} 清^{きよ}けく^{けく}築^{きず}きし^し学^{まな}びの^の庭^{にわ} よそとせ^{とせ}あまり^{あまり}いつとせ^{いつとせ}へぬ

「ひなまつりの歌」

桃^{もも}咲^さく^く春^{はる}の^のひな^{ひな}まつ^{まつ}り やさしき^{やさしき}ひな^{ひな}のおも^{おも}ざしに^に 映^はゆる^{ゆる}光^{ひかり}の^のどか^{どか}なる^{なる} 弥^や生^{せい}の^の空^{そら}は^はうら^{うら}と^と わが^{わが}世^よの^の幸^{さい}ぞ^ぞ限^{かぎ}りな^なき^き 桃^{もも}咲^さく^く春^{はる}の^のひな^{ひな}まつ^{まつ}り

「卒業を祝う歌」

吹^ふく^く風^{かぜ}和^{なご}みて^{みて}御^ご園^{えん}の^の春^{はる}は^は 八^や重^{じゆう}咲^さく^く桜^{さくら}の^の匂^{におい}ふ^ふが^がご^{ごと}とく^{とく} 栄^{さか}え^えある^{ある}君^{きみ}らが^が 門^{かど}出^で いざ^{いざ}や^や祝^{いわ}わん^{わん}いざ^{いざ} この^{この}花^{はな}捧^{たも}げ^げて

清友会の皆様と共に

本44回 生田(相良) 紀久子

世の中少し落ち着いたら清友の皆様と書文にてお会いしたいと思いつつ毎日が過ぎました。九十二才は自分自身びっくりする有様でしたがお蔭様にて新しい世界の様子にも出会い、多くの人の思いに耳を傾け、只外出も自由に出来ないのは我が身のみとは厚かましい事。若々しい世の中の移り変わりに目を輝かし乍来年は清友ともお別れかも知れませんが、世界中同一の混乱を見たのも長命のお蔭と有難く思います。又先立たれた諸姉の御冥福と清水谷百二十周年を迎える事をお喜び申し上げます。

創立120周年と卒寿

高2回 岡持 慶子

清水谷120周年の本年、高2回生の大半は卒寿を迎えます。同窓会は傘寿まででしたので、各自二重の慶びでコロナ禍を飛ばし元気に過ごしましょう。

私達の清水谷高女生活は、和室での礼法の授業や雛祭の行事から始まりました。戦局が悪化、上級生は工場へ。残った下級生が焼夷爆弾の直撃を受け、3名の友を亡くしました。私達だけが見た火の海の運動場！街は焼け野原で、教室の窓修理する目に「浪花の城」は迫って見えました。やがて高校生に。6年間も在籍した、女子のみの最終学年高2回生は、人生に清水谷小史を持っていると言えましょう。

入試用語「トップ校」。私は、「清・忍」を基本精神に重厚な伝統を誇る清水谷は、入学してよかったと思える「人間形成のトップ校」として輝かしい歴史を重ねて欲しいと願っています。

清水谷の歴史を思う

高5回 白井 嘉世子

私が清水谷に入学したのは、開校五十周年の頃。戦後数年経っていたが、講堂や教室の窓ガラスがあちらこちら入っていない状態。体育館も雨漏りしていました。戦争中疎開や被災。どの家も、不自由さや、貧しさを体験して来た世代なので、それをさして驚く事でもなかった。小さい事を大きく喜んで生き活きと過ごせた時代であったとつくづく思います。共学になってから、富士登山、神鍋スキー講習もあり、クラブ活動も大変盛んでした。高五回生が入学して初めて、全学年の男女共学に揃ったが、高三回生、高四回生は、高津中学、清水高女に、それぞれが志願をして、入学していながら、1950年の学制改革により、二つの学校が半数の生徒ずつ、入れ替わって、男女共学が実施。高女に最初の男子生徒が、誕生した運命の学年です。こうした改革で新制中学が急増しながら、校舎が全く不足していて、清水谷も天王寺第二中学(後の高津中学)と校舎を半分ずつ使用して、その二校同居が四年間も続いた時代がありました。大世帯になり、西運動場が出来たのは、1950年。私達の高一年の時でした。同学年に国体柔道選手も出ました。バレー部だった私は、府の国体予選で決勝で敗れた思い出はほろ苦い。夏休みに合宿があったが、高三の時、家庭科教室の工事で校舎が使えず、二十人程の人達の賄い付きで、私の実家で合宿所を引き受けた事もありました。以来バレー部の男女一緒でのOB会が年一度は、開かれていて、高三回の夫と共に最高学年として、参加させてもらっている事は、後輩の皆様のご尽力のおかげと、ただただ感謝しています。

これ迄の清水谷の歴史の上に新しいページを沢山加えて下さいます様、若い方々お一人お一人のご活躍を祈念いたします。

予防接種を終えて

高6回 安江 貞夫

テレビ人間の私にとって、大相撲・プロ野球・各種競技などが、オリ・パラ中継の為に中断され、ここ数日暇な時間が生じたので、宿題の原稿に着手することにした。

本来ならば、同期の仲間イベントへの勧誘や友人の活躍紹介などをしてほしい処ですが、ここ二年間の感染防止の為に、会合も欠席気味でご報告情報が無く申し訳ありません。でも訃報の多い報告よりも、前向きな話題を取りあげましょう。

一つは予防接種は、明るい材料ですね。マクロ経済指標からもコロナ禍は意外に影響は小さいとか。それに関西では、第二回の大阪万博の期待は大きい。などオリ・パラ後の明るい材料に目を向けましょう。

私達ももうすぐ「米寿」を迎えます。その節には、できるだけ大勢で、祝宴が開けることを願っております。

その節まで頑張りましょう！！

観桜会

高7回 一二三 邦枝

三月二十七日コロナ禍の間隙を縫って、七回生の桜を愛でる会が甲陽園丹羽邸において開かれました。男性八名女性四名といつにない、ささやかな会になってしまいました。

今の時代を反映しているのでしょうか。毎年この会は丹羽邸にピザ窯が出現して以来、ピザを焼く人、こねる人、その又ピザを食べる人、おしゃべり専科を楽しむ人と、それぞれ自分に応じた分野を消化して、満たされた思いで帰途につき又来年も会いたいネ、という言葉を残し余情残心。次の機会に期待を託しここまで心ある人達が繋いできてくれました。

しかしこの経験なきコロナ禍に痛ぶられ、日々気力体力共に下降現象。これを止めるすべなきや。ここ迄みなで努力で紡いできてくれた清七会。今更自然消滅なんてさせないぞ！天に向かって叫びます。

早く皆に会いたい！

残り少ないこの時間を奪わないで…と。

清水谷創立120周年に思う

高10回 吉岡道夫

われわれ高10回生が入学したのは1955年、それから66年後の今年、清水谷は創立120周年を迎えました。在学中10回生の仲間はクラブ活動で活躍、硬式野球部は夏の甲子園大会出場の一歩手前の決勝で浪商に苦杯を喫しましたが学校中が大いに盛り上がりました。私が所属していたバスケットボール部も夏の全国大会大阪予選で決勝まで進みました。相手の三国丘高校に敗れましたが、炎天下の中百舌鳥野外コートで水分補給なし（当時の教え）の戦いでバテバテになったことは懐かしい忘れ得ぬ思い出です。他のクラブの活動も大層活発で、同窓会の場でのお互いの活動の自慢話を花を咲かせています。2008年の卒業50周年記念同窓会を皮切りに、以後これまで6回の同窓会を開催、回ごとに同窓の「絆」が深まり、昨年6月に7回目の同窓会を企画していました。しかしコロナウイルスの為に今年に延期、しかし感染拡大は治まらず今年の開催も断念しました。われわれ高齢者へのワクチン接種も進んでおり、来年6月頃には2年越しの同窓会が開催出来ると考えています。年明け2～3月頃には案内状の発送が出来ると考えています。皆様、それまで健康に留意しお元気で過ごしてください。

清水谷120周年を迎えて

高11回 近藤 徹

5月のある日、突然清友会の世話役である同期のM氏から電話があった。同窓会誌に何か寄稿してくれと依頼があり、「内容は何でもええのや、適当に書いて」とかなり無責任な依頼、Faxが届き、しかし、そこには「清水谷120周年を迎えて」と明確にテーマが記載されていた。我が母校が創立120年で教育という事業を通じて何人の人材を社会に送り出してきたのだろうと感嘆の思いを抱く一方、我が80年の人生でどのくらいの社会貢献ができたのかと改めて振り返り深く反省の思いを抱く今日この頃である。

仏教の「六波羅蜜」つまり 布施、持戒、忍辱、精進、禪定、智慧を行ふべしとの教えをやっと最近になって少しでも実行しておけば良かったと忸怩たる思いで暮らす日々であるが頼まれれば地域のボランティアや子供達への海洋観察会の世話役等も及ばず乍ら参加し少しでも恩返しできないか足掻き、いまだに模索する毎日である。

蘇った過去と奇縁

高12回 青山 英雄

2年前に12回生として「清友だより」に寄稿したことがある。で、思いがけない便りが清友会厚見さんを通じて送られてきた。何事かと封を切ると、私の記事に「清田先生」の名を発見して懐かしくて連絡したとのことであった。私が清水谷に在籍したのは昭和32年から35年であるが、丁度その頃に清水谷で給仕をされていたらしく、「清田先生には公私にわたって言い尽くせないお世話になった」とあった。別の夜間高校に通っておられたようで、苦学されていたのであろう。上野恵司さん。ご存じの方も居られるかもしれません。

同封されていた氏のエッセイ集「まあこんなところか」に清田先生の著「肥後子供歳時記」のことも語られている。同書は私の座右にもある。上野さんが著名な学者であることは後日知った。筑波大学教授を歴任され、日本中国語検定協会理事長をされている。ネットでも検索できる。

120年記念と言えば清水谷は2回目の還暦を迎えたことになる。上記は1回目の還暦の頃の話である。不意に蘇った過去と奇縁に感謝している。

創立120周年おめでとうございます。

高13回 永楽明子

思い返せば高13回生に取りましては、来年は卒後61年目を迎え、昭和17年、18年生まれ私達は傘寿の年（80歳）を迎えます。

この年齢になりましても、ブルーのセーラー服姿に憧れ入学したことも懐かしく思い出されます。

丁度良い記念の年でもあり、コロナ禍で中止していました学年同窓会を来秋には開催したいと計画しております。

場所は予定ですが、北窓から大阪城を見下ろし、南窓からは母校清水谷方面が眺められる、「KKRホテル大阪」（森之宮）をと考えております。

年齢とともに出にくい頃になりましたが、出来るだけ沢山の方にお集まりいただけて、楽しく、思い出の残る会にしたいと思いますので、十分体調管理され、お集まりいただきます様、切望致しております。

「府一」の誇りを胸に

高19回 矢野 直

私たちの清水谷在校期間は、日本の高度経済成長の真っ只中、東京オリンピックから大阪万博へと駆け抜けた、慌ただしくも騒々しい十年のほぼ中間に当たります。個人的な思い出の一つ記させて戴きますと、一年生のある日、フタリと入った済美館の書棚に「清水谷六十年史」を見付け、そこに、市から府への移管に伴い我が校が「大阪府立第一高等女学校」と登録され、その後、「大阪府立清水谷高等女学校」となった旨の記事があったのを覚えています。暫くして、数人の先生方が他校へ転任されることになり、講堂で送別式典が挙行されました。お一人の先生のご挨拶の中に、諸君は常に「府一」の誇りを胸に生きて下さい、とのお言葉がありました。卒業後折にふれこのお言葉を想起し過ぎて来ましたが、実際がどれほどそれにふさわしいものであったかは…。

「昭和四十三年・初秋」

高22回 和田 雅夫

本番の「記念祭」まであと一ヶ月余り。

ファイアーストームの練習にも力が入る。

「ドン・ドン・ドン」太鼓の音。

「アイン・ツヴァイ・ドライ！」

『月は照る照る 朝日ヶ岡に 岡によ 今日ぞ記念祭 宵嵐 宵嵐 よーいよい』

練習メンバーの手にあるのは歌集。コピー機の無い時代、有志が鉄筆を持ってガリ版原稿を作り謄写版印刷で作成したものだ。内容は、母校オリジナルの物から旧制高校・大学の有名寮歌。本番当日は詰襟の一番上のホックも止めて白タスキ。

開校して六十七年。母校でのある日を思い出しました。

以来五十有余年、コロナ禍で同窓会開催も延期せざるを得なくなりましたが、必ずや開催できる日が来ると信じております。その日まで皆様どうぞご自愛下さい。

清水谷の高校生活で培ったもの

高40回 木田 剛

清水谷百二十周年おめでとうございます！私の記憶にある清水谷は、様々な行事の企画や運営を全て生徒が行う活気あふれる場所。三年生の時、体育祭の応援合戦の企画と指揮を担当したことは大切な思い出です。所属していた演劇部も、既成の台本は使わず、台本から演出まで全て部員が手がけ、独創性を大事にする部活でした。清水谷卒業後、日本大学芸術学部を経て、現在は演出家・脚本家として活動していますが、清水谷で培ったものが今の自分を作っていることは間違いなく、ここで高校生活を送れたことを本当に感謝しています。本格的なネット時代になってきましたが、やはり大切なのは人同士のコミュニケーション。今後は、演劇を通じて得たノウハウを活かし、様々な人をサポートできればと思っています。興味のある方はぜひこちらまで→ kidsuyoshi.com

清友のひろば

「トラキチ」 高4回 高川 静

我が家の通し柱に阪神ファンの家の木札が掛けてある。

学生の頃、春休みに西宮球場まで阪急阪神定期戦を観に行った。オープン戦である。当時の阪急には「ヘソデン」こと山田傳選手などスタープレイヤーも多かったが、何と言っても猛虎阪神は強かった。

1番 センター呉、2番 レフト金田、3番 ライト別当、4番 サード藤村、5番 キャッチャー土井垣、6番 セカンド本堂、7番 ショート長谷川、8番 ファースト安井、9番ピッチャー、ラインアップを聞いただけでああ今日も勝ったと思った。ダイナマイト打線である。

ところが昭和24年に毎日オリオンズが阪神タイガースから監督、選手5人を引き抜き、六甲おろして唄われる「無敵の我らぞ阪神タイガース」は崩壊する。

優勝は巨人にさせておいて、阪神は専らゼニ儲けのダメトラ時代が続く。

ここ一番に弱かった。

昭和60年に異変が起きた。日本制覇・阪神タイガースである。打つ！真弓、弘田、バース、掛布、岡田、佐野、長崎、木戸、吉竹、北村……、六甲おろしが鳴り響いた。

この年関西の某大学の英語講師は「阪神が優勝したら単位やる」と言った由。

筆者は「阪神優勝したら黄色と黒の車を買う」と言っただけ。西武球場の日本シリーズ第6戦を猛打で圧勝、4勝2敗で日本一となった瞬間、「優勝おめでとうございます。黄色と黒の車を買ってください！！」とディーラーのセールスマンが飛び込んで来た。

仲がかねがね阪神が優勝したら黄色と黒の車を買うと言っているよと漏らしていたらしい。当時このディーラーからイタリアンスタイルの軽快な黄色と黒の車が販売されていた。

仲達がこの車が来たので喜んで乗り回したことは言うまでもない。

今年のポストシーズンは果たしてどうなるだろうか。

【オウオウオウオウ 阪神タイガース フレフレフレ】

東期会の活動 高10回 岡本和夫

関東在住の高10回生で構成する元気印の『東期会』メンバーもさすがに新型コロナの前にはどうすることもできず、昨年はコロナに翻弄され続け活動報告も失念してしまう失態を演じてしまいましたが、何とか立ち直り遅ればせながらご報告させていただきます。

昨年、2020年2月3日には恒例の東期会新年会を『銀座 えん』で開催いたしました。この時すでに新型コロナは中国で発生していましたが、このときはまさかこんなことになるとは思いもしませんでしたから、東期会メンバー16名と大阪から女性2人の参加を得てそれぞれ3密の中で楽しく過ごすことができました。

食事会、歓談の後は、みんなうち揃って『銀座シックス』なる、おしゃれセンスを先取りしたショッピングビルの新しい風のさわやかな刺激を受け、みんなでお茶を楽しんだのでした。

大阪から来られたお二人は、この年5月に開催予定の『清水谷10期傘寿の会』の予告と説明をいただくなど、東京からの大いなる参加を期待されたお計らいでした。にもかかわらず、ここでも新型コロナの壁が立ちちはだかり、やむなく中止の案内を受け取ることとなりました。昨年は、10期が集まることができましたのは、2月3日の新年会だけで、5月はダメ、その年の10月開催予定の清友会東京支部総会も中止の憂き目を見ることとなりました。

新型コロナの惨禍は世界中を蹂躞し、6月23日時点で感染者は1億7900万人に及び、死者の数も388万人を超える規模で、まさしく戦争状態にあり、社会、経済は混乱の谷底に落とし込まれて、ここで取り上げています『同窓会』ごときは、露の先ほどにも当たらないかもしれませんが、それでも懐かしい親しい人々とのふれあい、楽しいお

しゃべりは私たち高齢者にとって、フレイルを留めておく活性化の大事な機会としての役割があり、早くその機会が来ることをひたすら願うばかりです。

また、東期会のメンバーで活動していました『蓼科浪漫倶楽部』の農園は2019年11月に閉園しました。会社人生をソフトランディングして始めた『蓼科農園』は、16年の長きにわたり農業活動に汗し、仲間内の楽しい時間を過ごすことができました。活動拠点を提供いただいたKさんのお陰と感謝しています。閉園によって一抹の寂しさを禁じえませんが、反面体力的には限界を感じほっとした面もあります。新型コロナが落ち着いてくれば、『蓼科浪漫倶楽部』第2ステージとして新たな活動を計画したいと思っています。

今年、2021年2月3日に予定しておりました東期会新年会も2年続いて中止を余儀なくされ、散策や自由な外出も制限されて、巣ごもり状態が続いています。

この報告文を作成している6月時点では、高齢者向けコロナワクチンの接種が順調に進捗していますが、それでも対象者の5割弱（1回目）で2回目を終了した人はまだ2割未満の程度ですからまだまだ安心はできない状況です。

一日も早く、気軽に集まり会える時が待たれますが、まだもう少しの我慢でしょうか。この10月には清友会東京支部総会が開催されるのでしょうか？

東期会では、個人的なメール交流はありますが、せめてオンラインネットで『おしゃべりサロン』を多くの皆さんと楽しみ、お互いの顔を見ながらリアルな会話を実現できるよう計画しているところです。

清友幼稚園だより

高22回 伊藤 恵美子

現在、満3歳児クラス二十三名、年少組七十八名、年中組七十九名、年長組八十六名の合計二百六十六名の園児が元気に通ってきています。コロナ禍の波が何度も押し寄せる中、入園式はクラス単位で行い、楽しみにしていた親子遠足にも行けず、お誕生会も学年別を実施するなど、例年通りにはできないことばかりですが、一年以上経過しましたので、神経質になり過ぎないように、またこの状態に慣れっこになってしまわないように気を付けながら何か新しいことに挑戦したり、今までのやり方を改めて見直したりして毎日の保育にアクセントをつけていきたいと思っています。昨年同様、園庭で採れた四キロほどの苺を冷凍し、夏にジャムにして皆でいただきました。また、昨年たらいで行った田植えは、今年は各自名前を書いたペットボトルに植えました。

青々と育ち、秋の収穫を楽しみにしています。



学校法人清友学園 認定こども園

清友幼稚園

理事長 鳥井 敏孝 (高22回) 園長 伊藤恵美子 (高22回)

令和4年度 園児募集

満3歳児 20名 3歳児 80名 4・5歳児 若干名
 URL: <http://www.seiyu-youchien.jp/>
 所在地: 〒581-0022 八尾市柏村町1-57
 (近鉄大阪線 高安駅より南西 徒歩8分)
 問い合わせ: TEL 072-922-2023 FAX 072-922-2035



「アクティブラーニングスペース構築へ 皆様のお力を!!」

回生幹事会議長 高34回 橋本 一志

新型コロナウイルスの猛威が、ようやく終息の兆しが見えてきましたが、まだまだ、大変な状況におられる清友会の皆様もおられると思います。あらためてお見舞い申し上げます。

さて、回生幹事会は、この2年間、開催できない状況でありましたが、状況が好転し始めており、社会情勢を見ながら済美館での開催を適宜、検討させていただきます。

本来なら、本年2021年に120周年事業が成就し、皆様へお伝えしている時期でありましたが、周知の通り、新型コロナウイルス感染拡大により事業の延期を与儀なくされました。

しかしながら、ようやく、事業を具体化し進めていく事になりました。その事業とは、既存の食堂をリニューアルし、アクティブラーニングスペースへと構築します。これは、既存の一方通行ではない対話型授業、プレゼンテーションによる学習、教育方法である「アクティブラーニング」が可能な空間を構築していくものです。

食堂の内装を変え、机、椅子を全面的に入れ替えます。その概要については、会報等に記載されています。

この食堂リニューアルにより、お昼のごく一部の時間帯だけしか利用されていなかった食堂スペースが、始業から終業時間まで、生徒さんの学習

空間に生まれ変わります。

実は、このような食堂の改装事業については、100年を超える複数の伝統は既に達成し、生徒さんが喜々として集い、学習空間として有効に利用されています。生徒さんの学力向上に寄与している事は明らかです。

実際、ある伝統校は、4年前に既に食堂をアクティブラーニングスペース化して運用されていました。その関係者に直接お聞きした所、「生徒さんたちは、ここでしっかり勉強をされてますよ。」とのお話でした。

この他に、伝統高の何校かは、同じように食堂をリニューアルし学習空間へと変貌させています。

120年の歴史を有しながら、母校支援については、他の伝統高に比べ周年遅れ、いや、相当の遅れをとっていると言われても仕方ない状況を、記念事業として食堂をリニューアルし新たな学習空間を構築していく事は、これからの母校の発展に絶対に必要な事ではないでしょうか。

このように食堂リニューアルを行った高校は、私の知る所、資金はすべて卒業生からの寄附によるものです。

今回、本校における記念事業についても、相当な資金が必要となります。皆様からの浄財に助けて頂くしかありません。

各回生の中心になって頂いている回生幹事の皆様には、120周年記念事業の趣旨を御理解頂き、同じ回生の方々への呼びかけをお願い致します。

来夏、2022年の秋に、食堂リニューアルを完成しオープンする計画です。回生幹事会の皆様とともに、母校、諸先輩、若手メンバーとの絆をより強固とし、新たな伝統の節目として、120周年記念事業、アクティブラーニングスペースの構築を達成して参りたいと思います。

様々、状況は大変ですが、今後とも、回生幹事会の活動への御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

今後の予定：

第10回：2021年11月27日（土）（予定）、花屋敷ゴルフ倶楽部よかわ（予定）。（第11回2022年春については未定）

なお、いずれのコンペもダブルベリア方式にて順位を決定しています。2020年秋のA、Bおよび2021年春のBのコンペはコロナにもめげず順調に開催できました。残念ながら2021年春のAについてはコロナウイルス感染拡大に鑑み中止となりました。

ワクチン接種も進んできたことですので今秋以降は安心して開催できることを願っています。

初めての方も大歓迎です。A、B両コンペともに皆さまお誘い合わせのうえ積極的なご参加をお待ちします。

但し、いずれのコンペについても感染状況や行政からの自粛要請、その他の事情から開催日・場所の変更（中止を含む）となるかもしれませんので承知置き願います。

参加のお申込みやお問い合わせにつきましては清友会事務局（Eメール：seiyukai@carrot.ocn.ne.jp）までお願いいたします。

文責 芝川重博（高20回）



コロナ禍のため何かと不自由なここ1、2年ですが、2020年度後半から2022年度前半のゴルフ会の活動状況ならびに今後の予定をお知らせします。

清友ゴルフ会は例年コンペA（従来からの平日開催）およびコンペB（平日参加が難しい方のための休日開催）を春と秋にそれぞれ1回ずつ、併せて年4回開催しています。

〈清友ゴルフ会A〉

第64回：2020年10月14日（水）伏尾ゴルフ倶楽部 参加者10名。

第65回：2021年春：開催中止。

今後の予定：

第65回：2021年10月13日（水）予定。

第66回：2022年4月13日（水）予定。

場所はいずれも伏尾ゴルフ倶楽部を予定。

〈清友ゴルフ会B〉

第8回清友ゴルフ会B：

2020年11月28日（土）花屋敷ゴルフ倶楽部よかわ 参加者8名。

第9回清友ゴルフ会B：

2021年6月26日（土）花屋敷ゴルフ倶楽部よかわ 参加者8名。

清友ゴルフ会 のお知らせ

文化講座 コロナ禍のため休止していましたが再開いたしました。毛筆画（第2、第4金曜日）、清友コーラス（月3回）

原 二郎様 高4回 令和3年1月

原様は平成10年から19年まで第15代会長（当時は理事長）を務めて頂き清友会の発展のために活躍・貢献されました。特に平成13年創立100周年記念においては多大なご尽力を頂き事業を成功に導かれました。会員一同心より感謝申し上げます。（合掌）

和 田 敏 博 様 高11回 令和3年6月

和田様は平成19年から30年まで長きにわたり理事を務めて頂き、特に広報委員会の中心として会報作成にご尽力されました。また詩吟の練達者であられ新年互礼会等でご披露されておられた姿が忘れられません。ありがとうございました。（合掌）

株式会社橋本総合鑑定

<http://www.hashimoto-kantei.com/>

代表取締役 不動産鑑定士

橋本 一志
(高34回)



〒541-0054
大阪市中央区南本町3丁目3番23号 インペリアル船場513号
TEL 06-6120-6633 FAX 06-6120-6622
E-mail: hashimoto@hashimoto-kantei.com

Suda Hajime CPTA Office

須田肇税理士事務所



税理士 須田 肇
(高23回)

〒540-0038
大阪市中央区内淡路町1-3-4 福智ビル5階 500号
(地下鉄「天満橋駅」より徒歩5分)

tel : 06 - 6360 - 9300
<http://suda-zeimukaikei.com>

コロナ禍における



リアル+リモート理事会の様子



リモート参加のモニター

～清友会デジタル化の取り組み～

新型コロナウイルスの蔓延を契機に社会が大きく変容し、デジタル化・リモート化が進展しています。そのような中、清友会においても活動のあり方を見直して参りました。

- ① 済美館へのWi-Fi導入
- ② Zoomを使ったリモート会議システムの構築
- ③ 「清友会 公式LINE」の設定

このような取り組みを行い、昨年来、完全リモートでの理事会の開催を実施しました。また現在は済美館+リモートでの参加という「リアル+リモート」というスタイルで理事会を開催しています。

またこのデジタル化に際しては、2019年から開催の「清友会フューチャー」を通してつながりの出来た（当時現役大学生の）高67回大塚壮真さん・小傳茂元貴さんが多大なる協力をしてくれました。若い力が清友会に貢献してくれるという、とても嬉しい事例となりました。役員一同お二人には大変感謝しています。

清友会では今後もインターネットやキャッシュレス決済システムを使った年会費等の納入システムの構築、Eメールによる会員への情報発信等に取り組んで参ります。会員皆様のご理解、ご協力をお願い申し上げます。



(左)大塚さん (右)小傳茂さん

早速ですが メールアドレスの登録にご協力下さい！

社会のIT化・ペーパーレス化が進み、清友会でも今後はメールでのご連絡・お知らせが多くなると考えられます。ついては皆様のメールアドレスの登録をあらためてお願い申し上げます。

登録はパソコンまたはスマホからホームページお問い合わせフォームをお願いします。「件名：メールアドレスの登録」をご選択下さい。お手数おかけしますが何卒よろしくようお願い申し上げます。

パソコンから

清友会

検索

スマホから



公式LINEの友達追加もお願いします！



清友会のLINE公式アカウントが出来ました！
QRコードから友達追加して下さい。
事務局からのお知らせや各種情報を発信していきます。



金属工事業 株式会社 アドバンス

代表取締役
西前啓介 (高34回)

〒577-0065 大阪府東大阪市高井田中1丁目1番21号
TEL.06-6784-2403 FAX.06-6784-2404
E-mail:k-nishimae@advance-co.co.jp

～協賛広告募集～

会報に掲載する協賛広告を募集しています。

・普通広告
タテ 7.5cm × ヨコ 9.5cm ￥30,000

・名刺広告
タテ 2.5cm × ヨコ 7.5cm ￥5,000

お申込みは事務局 (06-6768-4159)へご連絡下さい。
※紙面の都合上、サイズが若干異なる場合があります。
広報委員会

新年互礼会中止のお知らせ

令和4年1月23日(日)に予定しておりました「新年互礼会」は現在の状況に鑑みて、皆様のご健康と安全を考慮し中止することとなりました。2年連続の中止は大変残念ではありますが、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

総会・懇親会

- ・令和4年6月12日(日) 12時～15時
- ・ホテルグランヴィア大阪20階
- ・会費 8,000円

上記内容で予定しておりますが、開催の可否については感染状況等を総合的に勘案し慎重に判断いたします。



二十歳になったら清水谷！

高70回(平成30年卒業)の皆様について、社会状況の改善により下記の通り開催いたします。

- ・令和4年1月29日(土) 17:30～19:30
- ・会場 グレースバリなんば道頓堀店6階「ルアン」
- ・会費 4,500円

高71回(平成31年卒業)の皆様については今後開催を検討していきます。

清友会フューチャーについても開催を検討いたします。

事務局だより

個人情報保護について

プライバシーポリシーについて(個人情報保護方針)

清友会は高度情報通信社会における個人情報保護の重要性を認識し個人情報の保護に努めます。

- ◎全会員の名簿はプライバシー保護のため発行していません。各回生で名簿が必要な場合は回生幹事を通じて、原簿「コピー」または「宛名シール」を頒布いたします。その際、個人情報保護法に則り使用目的に関する誓約書の提出をお願いします。
- ◎住所・氏名の変更ご逝去等がございましたら葉書またはFAX・Eメールにて事務局または回生幹事までご連絡下さい。(留守番電話は不可) ホームページからでも可能です。
- ◎回生幹事の変更があれば事務局までご連絡下さい。
- ◎「済美館」のご利用や母校見学については事務局までご相談下さい。

お問い合わせ先 清友会事務局 火・金曜日 10時～16時(担当:厚見彰子)

TEL 06-6768-4159 FAX 06-6770-5015

Eメール seiyukai@carrot.ocn.ne.jp ホームページ <https://dousokai.site/seiyukai/>

吉岡塗料 高8回 吉岡 武 Tel・Fax 06-6762-0420 天王寺区空堀町2-20	社会保険労務士法人オフィス人事労務 代表社員・所長 仲宗根信成 高34回 Tel 06-6944-1212 大阪市中央区森ノ宮中央1-16-2	(一社)兵庫県マンション管理士会 高19回 会長 森口二郎 マンション管理士・声紋分析心理学士 携帯:090-8577-3514
自衛隊大阪地方協力本部 高50回 広報官 岩田 徹 携帯 080-3522-9283 梅田募集案内所(大阪市北区芝田2-1-21)	高22回 伊藤 恵美子	須田肇税理士事務所 高23回 税理士 須田 肇 Tel 06-6360-9300 HP: http://suda-zeimukaikei.com
一文字厨器株式会社 高23回 代表取締役 田中睦之 Tel 06-6633-9393 大阪市中央区難波千日前14-8	(株)永田化学工業所 高23回 代表取締役 永田 勇 Tel 072-943-8330 八尾市垣内1丁目110番地	大阪市立大学同窓会 高24回 事務局長 上村修三 (大阪市立大学都市研究プラザ特別研究員) Tel 06-6605-2113 E-Mail uemura@ado.osaka-cu.ac.jp



～ 120周年記念ロゴについて～

ロゴのデザインを在校生に募ったところ32件の応募がありました。教職員・PTA・清友会の選考を経て全校生徒・職員の投票により選ばれました。



選考風景

◎作者の想い

清水谷高校の特徴と長い歴史を表現したい、という想いを込めました。

「特徴」を表現するために清水谷高校のシンボルであるくすの木を中心に配し、セーラー服の清水谷ブルーと学ランの黒をイメージした配色を施しました。

「長い歴史」は外円で表現しています。円の区切りは元号の区切りです。創立から現在までの120年間に含まれる明治・大正・昭和・平成・令和を各元号の年数の割合で区切り表しました。

清水谷のローマ字表記SHIMIZUDANIの「IZU」と120周年の「120」をひとつに組み合わせる工夫をしシンプルに表し、清水谷高校らしい清楚な美しさが伝わるデザインを心掛けました。

～他に応募いただいた作品も素晴らしいものばかりなのでご紹介いたします～



ご応募いただいた生徒の皆さん、本当にありがとうございました。